

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		仏教学 ( Y H I A 1 )		講義	武井峻應
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート課題	実技	授業態度	
50%	10%	20%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**  
この授業では、本学が建学の精神としてかかげている仏教についての基礎知識を学び、保育者として、はたまたひとりの人間として、仏教の智慧を日常生活に活かすことができるようになることを目的とする。授業は講義を中心とするが、自らの頭で考え、意見を交換する時間を設ける。リアクションペーパーや課題に関しては、授業の中でフィードバックし共有する。定期試験は返却する。

**【授業の到達目標】**  
基本的な仏教用語を理解し、説明できる。  
仏教行事について理解し、説明できる。  
仏教の智慧と日常生活を関連付けることができる。

**【実務経験】**  
僧侶としての経験を活かし、仏教の知識を実践的に捉えて講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 建学の精神と仏教行事、宗教とは	予習 宗教について説明できる 復習 仏教行事についてまとめる	2時間 2時間
2	釈尊の生涯① 釈尊の誕生・天上天下唯我独尊	予習 釈尊誕生時の様子について調べる 復習 釈尊の誕生についてまとめる	2時間 2時間
3	釈尊の生涯② 四門出遊・出家・修行	予習 生老病死について考察する 復習 四門出遊・出家・修行についてまとめる	2時間 2時間
4	釈尊の生涯③ 成道・梵天勧請・初転法輪	予習 「さとり」について調べる 復習 成道・梵天勧請・初転法輪についてまとめる	2時間 2時間
5	釈尊の生涯④ 般涅槃・結集 坐禅の実践	予習 坐禅について調べ実践する 復習 坐禅についてまとめ実践する	2時間 2時間
6	仏教の智慧① 縁起・中道・四諦八正道	予習 縁起について調べる 復習 縁起・中道・四諦八正道についてまとめる	2時間 2時間
7	仏教の智慧② 三毒・慈悲・戒律 花まつりレポート講評・返却	予習 「思いやり」についてまとめる 復習 三毒・慈悲・戒律についてまとめる	2時間 2時間
8	仏教の智慧③ 諸行無常・諸法無我・涅槃寂静・布施	予習 無常を感じた経験についてまとめる 復習 諸行無常・諸法無我・涅槃寂静	2時間 2時間
9	仏教説話を読む① ～ 偏見のからくり 罪を償うとは ～	予習 偏見についてまとめる 復習 講義内容を考察する	2時間 2時間
10	仏教説話を読む② ～ 金の斧、銀の斧 本物の賢者とは ～	予習 「金の斧銀の斧」について考察する 復習 講義内容を考察する	2時間 2時間
11	物語から読み解く仏教① ～ ミヒャエル・エンデの『モモ』を読んで～	予習 『モモ』について調べる 復習 モモと禅の関係をまとめる	2時間 2時間
12	物語から読み解く仏教② ～ オイゲン・ヘリゲルの『弓と禅』を読んで～	予習 『弓と禅』について調べる 復習 弓と禅の関係をまとめる	3時間 1時間
13	般若心経を読む 「色即是空」の真実	予習 「空」について調べる 復習 般若心経についてまとめる	2時間 2時間
14	仏教行事① 「降誕会」・「魂まつり」 魂まつりレポートについては後期返却	予習 行事について調べる 復習 レポートにまとめる	2時間 2時間
15	仏教行事② 「成道会」・「涅槃会」 レポートについては後期返却	予習 行事について調べる 復習 レポートにまとめる	2時間 2時間

**\* 担当者からのメッセージ \***

仏教においては、教える側の先生も学生とともに歩む存在です。つまり、みなさん自身が先生として教える側に回ることもあるということ。限られた人生をよりよいものにするために、共に勉強していきましょう。  
オフィスアワーは水曜日 5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		心理学 ( I B 2 )		講義	五十嵐 元子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	—		
教科書 はじめて学ぶ心理学—心の形成・心の理解 井梅由美子・渡辺千歳編著 大学図書出版 2015年					
参考書 授業中に指示					
教材 適宜配布					
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	30%	60%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

心理学とは目に見えない心の仕組みを理解しようとする学問です。この授業では心理学という学問の基礎体系を学び、人の行動や感情の捉え方、人の認識のあり方、それらがどのように研究されているのかを知ることを目的にしています。さらに身近な心理学のトピックを取りあげ、人の心や行動への理解を深めます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回のリアクションペーパー・課題（レポート）を提出してください。リアクションペーパーは授業中にフィードバックを、課題（レポート）は返却します。

#### 【授業の到達目標】

- ・感覚・知覚、学習・記憶、思考・言語、動機づけなどについて理解し、説明できる。
- ・発達や人格、社会行動（対人関係）、心理アセスメントと心理療法について理解し、説明できるようになる。
- ・身近なトピック及び現代社会における課題を心理学と結び付けて理解し、説明できるようになる。

#### 【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション 心とは何か？心理学という学問について	予習	心とは何か？を考えまとめる	1時間
		復習	改めて心とは何か？をまとめる	2時間
2	欲求と動機づけ ～人の欲求とやる気の関係を知る	予習	学びたい気持ちになるときを考える	1時間
		復習	欲求と動機づけ理論をまとめる	2時間
3	感覚と知覚 (1) 基礎編 ～感覚と知覚を考える	予習	錯視（だまし絵）を調べる	1時間
		復習	感覚と知覚のメカニズムをまとめる	2時間
4	感覚と知覚 (2) 応用編 ～発達障がいにおける感覚と知覚を知る	予習	感覚過敏について調べる	1時間
		復習	発達障がいの困難をまとめる	2時間
5	学習のメカニズムを知る	予習	誉める・叱るとは何かを考える	1時間
		復習	条件づけについてまとめる	2時間
6	記憶のメカニズムを知る	予習	記憶という言葉のイメージを考える	1時間
		復習	記憶のメカニズムをまとめる	2時間
7	言語と思考とは何か？その発達を知る	予習	言語の獲得について考える	1時間
		復習	乳幼児期の言語発達をまとめる	2時間
8	感情の発達を知る	予習	感情とは何かを考える	1時間
		復習	感情の発達をまとめる	2時間
9	パーソナリティの理論と検査法を学ぶ	予習	血液型と性格は関係するかを考える	1時間
		復習	パーソナリティ理論をまとめる	2時間
10	知能とは何かを知る	予習	知能が高いと勉強もできるのかを考える	1時間
		復習	知能とは何かをまとめる	2時間
11	心理アセスメントを学ぶ	予習	心理テストからイメージするもの考える	1時間
		復習	心理アセスメントについてまとめる	2時間
12	心理療法を学ぶ	予習	カウンセリングのイメージをまとめる	1時間
		復習	心理アセスメントと心理療法をまとめる	2時間
13	社会的行動（対人関係の認知）を考える	予習	ドキドキすることは恋愛か？を考える	1時間
		復習	対人関係の認知過程をまとめる	2時間
14	ストレスと心の病を学ぶ	予習	ストレスとは何かを考える	1時間
		復習	ストレスと心の病の関係をまとめる	2時間
15	家族関係を捉える 全体のまとめ	予習	あなたにとって家族とは？を考える	1時間
		復習	課題レポートの準備	2時間

#### \* 担当者からのメッセージ \*

心理学を学ぶと自分や他者を見る目が少しだけ変わるかもしれません。日常よくある人と関連した現象と一緒に楽しく読み解きましょう。オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		保育と環境 ( Y H I A 4 )		演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省)					
教材 適宜資料を配布する					
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

この授業では、環境を通した保育を前提に、保育者の役割についての理解を深め、幼児の発達にとっての環境の意義について学ぶ。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れる。また、グループワークで議論や意見の共有を行う。リアクションペーパーを記入し、フィードバックを共有する。また、定期試験は返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・子どもにとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、環境を通した実践的な支援を行うことができる。
- ・子どもを取り巻く環境や、子どもと環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

## 【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通した保育について考える。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	授業概要 環境を通した保育とは	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
2	自然体験について知る	予習	自然体験の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
3	いろいろな子どもの遊び場・遊具	予習	遊び場・遊具の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
4	子どもの成長と保育環境とは ①3歳未満児	予習	指針解説 P145-155を読む	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
5	子どもの成長と保育環境とは ②3歳児	予習	指針解説 P228-247を読む	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
6	子どもの成長と保育環境とは ③4歳児	予習	要領解説 P193-212を読む	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
7	子どもの成長と保育環境とは ④5歳児	予習	要領解説 P2-21を読む	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
8	いろいろなものを栽培・収穫体験	予習	栽培・収穫体験の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
9	いろいろな生き物を飼育	予習	生き物飼育の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
10	いろいろな日本の年中行事	予習	年中行事の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
11	保育環境の中にある数量・図形	予習	数量・図形の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
12	保育環境の中にある標識・文字	予習	標識・文字の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
13	園外保育をはじめとする地域社会と関わり	予習	園外保育の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
14	幼小接続をはじめとする地域社会との関わり	予習	保育資源・文化施設の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で行ったワークの考察	1時間
15	連絡帳の役割	予習	連絡帳の役割について考える	0.5時間
		復習	定期試験準備	1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。オフィスアワーは水曜日5コマです。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年後期		保育と表現 ( Y H I A G )		演習	茂木克浩・高橋由起
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	アクションペーパー	レポート	提出物	授業態度	
—	20%	40%	20%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「コンパス 保育内容 表現」島田由紀子・駒久美子編著,建帛社,2019年					
参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、 保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、 幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)、『表現者を育てるための保育内容「音楽表現」』石井玲子編著 教育情報出版					
教材 ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)・適宜授業内で連絡します					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

本授業では、幼児教育における領域「表現」に関する知識と、幼児の多様な表現を支えるための技能や表現力を実践的に学ぶ。音楽・造形・身体といった様々な表現方法を統合した活動を取り入れることで、魅力的な表現あそびを計画できるようにする。実際に活動を考え体験し合い、学生間で意見交換することを通して、表すことと受け止めることの両方を体験的に学べるようにする。ポートフォリオに毎時間の学びを記録することで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらい、毎回の授業後にアクションペーパーの提出を求め、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内で講評、解説を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・幼児の遊びや生活と表現との関連について説明できる。
- ・幼児が表現活動を展開していく過程や、それを発展させ支える方法について理解している。
- ・幼児の多様な表現の魅力を見つけ、受け止めることができる。

## 【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、豊かな表現活動を支えていく上で留意するポイントを具体的に示していく。(茂木)  
海外での幼稚園教諭としての経験、また演奏活動を行っている演奏家としての両方を活かし、実践的な表現あそびについて提言していく。(高橋)

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準 備 学 習 時 間
1	表現との出会い	茂木 高橋	予習) 教科書p.1-10を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
2	幼児教育における表現の歴史と領域「表現」	茂木 高橋	予習) 幼児教育における表現の歴史について調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
3	子どもの表現を支える保育者の役割	茂木 高橋	予習) 教科書p.11-16を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
4	幼児期と児童期の表現とつながり レポート課題について	茂木 高橋	予習) 教科書p.17-26を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
5	うごきと表現	高橋	予習) 教科書p.27-33を読みp.33の演習課題について考えてくる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
6	創造力と表現	高橋	予習) リトミックについて調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
7	〇〇遊びと表現	高橋	予習) 教科書p.47-54を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
8	自然と表現	茂木	予習) 自然が子どもに与える影響について調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
9	素材と表現	茂木	予習) 教科書p.57-66を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
10	多様な情報機器と表現	茂木	予習) 教科書p.67-74を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
11	多感覚と表現	茂木 高橋	予習) 多感覚について調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
12	子どもたちの発達を踏まえた表現あそび	茂木 高橋	予習) 教科書p.83-122を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
13	表現あそびを考える① 計画立案	茂木 高橋	予習) 実施したい表現あそびを考える 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
14	表現あそびを考える② 発表	茂木 高橋	予習) 表現あそびの発表準備をする 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間
15	子どもの表現と評価 課題への講評と解説	茂木 高橋	予習) 教科書p.123-130を事前に読み不明点を調べる 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間 0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子どもたちが多様な表現活動をのびのびと行えるよう、具体的な支援の方法を学びましょう。学びを自分のものにするためには、各回の学修内容と気づきを自らの言葉で振り返ることが重要です。疑問点については積極的に調べましょう。前向きに授業に取り組んでくれることを期待します。オフィスアワーは水曜5コマです。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育内容の指導法（造形表現） （ Y H I A 1 1 ）			演習	茂木 克浩
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	提出物	模擬保育	
—	20%	30%	30%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「保育をひらく造形表現」横 英子 明文書林 参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）、 保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）、 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（平成30年3月内閣府）、「色彩ワークショップ（しる・みる・つかうシリーズ1）」色彩ワークショップ編集委員会 日本色研事業株式会社 教 材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル（詳細は1回目の授業で説明します）					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

本授業では乳幼児の表現活動、特に造形表現を中心にした保育内容の展開や指導法を実践的に学ぶ。実際に保育現場で用いられることの多い素材や道具に触れることで、その特徴や指導上の留意点を経験的に学ぶようにする。指導案の作成や模擬保育を通して、学修した知識を元に保育を計画できる実践的な力の獲得を目指す。適宜、グループワークを取り入れ、多様な表現や視点に気付けるようにする。また素材や道具、環境の設定と関連させながら安全管理についても取り扱っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内で講評、解説をする。

## 【授業の到達目標】

- ・道具、素材、環境、情報機器等の特徴を理解し、幼児の関心や発達に合わせた保育内容を構想できる。
- ・領域「表現」の目標及び内容を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成できる。
- ・模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点と姿勢を身に付けている。

## 【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、素材の特徴や道具の使い方、表現のポイント、具体的な活動の立案方法について実践的に学ぶようにする。

授 業 計 画		準 備 学 習（予 習・復 習）		準 備 学 習 時 間
1	領域「表現」と幼児の造形表現活動との関連	予習) 教科書p.9-14,84-86を読み不明点を調べる		0.5時間
		復習) 自らの造形体験について思い出す		0.5時間
2	描画・造形表現の発達と小学校への接続	予習) 教科書p.63-79を読み不明点を調べる		1時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
3	インクルーシブ保育と多様な表現活動	予習) 教科書p.79-81,118-124を読み不明点を調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
4	身体感覚を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 教科書p.15-25を読み不明点を調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
5	環境を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 教科書p.88-100を読み不明点を調べる		1時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
6	協働で行う表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 教科書p.26-30を読み不明点を調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
7	色や形を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 色彩の基本的な知識について調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
8	自然や自然物を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 自然が子どもたちに与える影響について調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
9	描画材の特徴を生かした表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 保育現場で使われている描画材について調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
10	身近な素材を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 身近にある素材について調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
11	情報機器を用いた表現活動の実践と指導上の留意点	予習) 造形表現に使用できそうなアプリを調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
12	模擬保育に向けた計画立案と指導案作成	予習) 教科書p.101-110を読み不明点を調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
13	模擬保育に向けた教材研究	予習) 教科書p.112-116を読み不明点を調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
14	模擬保育の実践と振り返り	予習) 模擬保育の準備をする		1時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間
15	子どもの造形表現活動の評価とそれを活かした支援	予習) 評価について調べる		0.5時間
		復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる		0.5時間

## \*担当者からのメッセージ\*

子どもと一緒に造形表現を楽しむためには、保育者自らが素材や道具にたくさん触れそれらに対する理解を深めることが大切です。またその知識を用いて具体的な活動を計画できることが必要になります。学びを自分のものにするためには、各回の学修内容と気づきを自らの言葉で振り返ることが重要です。疑問点については積極的に調べましょう。前向きに授業に取り組んでくれることを期待します。オフィスアワーは水曜5コマです。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者	
1年後期		心身の発達と学習過程 ( Y H I B 3 )		講義	五十嵐 元子	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 心理科学研究会『新・育ちあう乳幼児心理学-保育実践とともに未来へ-』有斐閣コンパクト2019年 参考書 授業中に指示 教材 適宜配布		
2単位	—	○	○			
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技			授業態度
—	30%	60%	—	10%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を身につけます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回のリアクションペーパー・課題(レポート)を提出してください。リアクションペーパーは授業中にフィードバックを、課題(レポート)は返却します。

#### 【授業の到達目標】

- ・保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について説明できる。
- ・子どもの発達に関わる心理学の基礎と養護・教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を解説できる。
- ・乳幼児の学びの過程や特性の基礎的な知識を習得し、保育者や仲間との相互的関わりや体験、環境の意義を解説できる。

#### 【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	ガイダンス(授業の概要と流れ) 保育と心理学について考える	予習	子どもを育てるイメージを図にする	1時間
		復習	心理学と子ども観の関係をまとめる	2時間
2	発達の定義・発達の原理・発達段階と発達課題・子どもの発達と環境について学ぶ	予習	発達とは何か?を考える	1時間
		復習	発達と環境の関連性をまとめる	2時間
3	発達における遺伝と環境・発達初期の経験の重要性・ヴィゴツキーの発達理論を学ぶ	予習	発達の遺伝と環境を調べる	1時間
		復習	初期経験の重要性は本当か?を考える	2時間
4	胎児期・新生児期の発達と発達課題を知る	予習	胎児期に記憶はあるのか?を考える	1時間
		復習	新生児期の発達をまとめる	2時間
5	乳幼児期の発達と発達課題を知る	予習	乳幼児期に大切にしたいことを考える	1時間
		復習	乳幼児期の発達をまとめる	2時間
6	児童期の発達と発達課題を知る	予習	学校で学んだことは何かをまとめる	1時間
		復習	児童期の発達をまとめる	2時間
7	青年期・成人期・老年期の発達と発達課題を知る	予習	青年期以降、人間は発達するのか?を考える	1時間
		復習	青年期・成人期・老年期の発達をまとめる	2時間
8	身体的機能・運動機能の発達について学ぶ	予習	代表的な運動遊びを考える	1時間
		復習	運動機能の発達にとって大切なことを考える	2時間
9	認知の発達と幼児・児童の学習過程を学ぶ	予習	子どもの頃に不思議だと思ったことを考える	1時間
		復習	認知と学習過程の関係をまとめる	2時間
10	愛着の形成と発達・自我・自己の発達を学ぶ	予習	3歳児神話を調べる	1時間
		復習	愛着・自我・自己の発達をまとめる	2時間
11	ことばの発達を学ぶ	予習	言語発達の過程を調べる	1時間
		復習	乳幼児期のことばの発達をまとめる	2時間
12	社会性の発達を学ぶ	予習	周りの目を気にするのは何歳から?を考える	1時間
		復習	劇づくりは社会性の発達を促すか?を考える	2時間
13	遊びの発達と保育の中に見る遊びを考える	予習	泥団子の作り方を調べる	1時間
		復習	子どもにとって遊びとは何か?を考える	2時間
14	基本的な生活習慣の獲得と保育実践・身体機能と運動機能の獲得と保育実践を考える	予習	あなたの家の食事のマナーを考える	1時間
		復習	基本的な生活習慣とは何か?を考える	2時間
15	認知の発達と保育実践・社会性の発達と保育実践を考える 授業のまとめ	予習	鬼ごっこの種類を調べる	1時間
		復習	課題レポートの準備	2時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

子どもの発達を知ると遊びの実践が楽しくなる!をモットーに学習を進めていきます。オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年前期		こども家庭福祉 ( Y H I E 2 )		講義	星田 由哉
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 新保幸男・小林理, 2019, 『新・基本保育シリーズ ③ 子ども家庭福祉』, 中央法規出版.	
2単位		○	○	○	参考書 授業時に適宜紹介する。  教材 授業時に適宜配布する。
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
30%	10%	60%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

児童の権利に関する条約、貧困家庭や外国につながるこどもとその家庭への対応、こども家庭福祉の意義と歴史の変遷、制度、課題、動向と展望について学ぶ。授業は講義を中心に進めていくが、必要に応じて映像教材やディスカッションなどを取り入れていく。リアクションペーパーは翌授業でフィードバックし、レポート・定期試験は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・ 現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解し、説明できる。
- ・ こどもの人権擁護について理解し、説明できる。
- ・ こども家庭福祉の制度や実施体系等について理解し、説明できる。
- ・ こども家庭福祉の現状と課題について理解し、説明できる。
- ・ こども家庭福祉の動向と展望について理解し、説明できる。

#### 【実務経験】

児童養護施設での実務経験を活かし、実際の現場の様子を紹介しながら実践的に授業を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	イントロダクション レポート①について 現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷①：こども家庭福祉の理念と概念	予習) 教科書第1章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
2	現代社会におけるこども家庭福祉の意義と歴史の変遷②：こども家庭福祉の歴史の変遷と諸外国の動向	予習) 教科書第2章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
3	こどもの人権擁護①：こどもの人権擁護	予習) 教科書第3章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
4	こどもの人権擁護②：こども家庭福祉の制度と実施体制	予習) 教科書第4章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
5	こども家庭福祉の制度と実施体系①：こども家庭福祉の施設と専門職 レポート①締切日 レポート②について	予習) 教科書第5章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
6	こども家庭福祉の制度と実施体系②：少子化と地域子育て支援	予習) 教科書第6章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
7	こども家庭福祉の動向と展望①：次世代育成支援とこども家庭福祉の推進	予習) 教科書第14章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
8	こども家庭福祉の動向と展望②：地域における連携・協働とネットワーク レポート①返却 (予定)	予習) 教科書第15章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
9	こども家庭福祉の現状と課題①：母子保健とこどもの健全育成 レポート②締切日	予習) 教科書第7章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		2時間
10	こども家庭福祉の現状と課題②：多様な保育ニーズへの対応	予習) 教科書第8章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化		1.5時間
11	こども家庭福祉の現状と課題③：こども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止	予習) 教科書第9章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化		1.5時間
12	こども家庭福祉の現状と課題④：貧困家庭、外国につながるこどもとその家庭への対応 レポート②返却 (予定) 定期試験について	予習) 教科書第10章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		2時間
13	こども家庭福祉の現状と課題⑤：社会的養護	予習) 教科書第11章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		2時間
14	こども家庭福祉の現状と課題⑥：障害のあるこどもへの対応	予習) 教科書第12章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		2.5時間
15	こども家庭福祉の現状と課題⑦：少年非行等への対応まとめ	予習) 教科書第13章 Step1・2を読んで内容をまとめる		1時間
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		2.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

この科目は、保育の本質・目的に関する科目の一つです。社会的な弱者の一部であるこどもと、その背景にある家庭に対する支援について学びます。教育実習・保育実習に向けて、こども家庭福祉に対する理解を深めていきましょう。対話を通してともに学びを深めていくために、積極的に授業に参加してください。オフィスアワーは授業終了後の休み時間です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	社会福祉 (HIE3)			講義	星田由哉
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 松原康雄・坪洋一・金子充, 2019, 『新・基本保育シリーズ ④ 社会福祉』, 中央法規出版.	
2単位	—	—	○	参考書 授業時に適宜紹介する。	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	教材 授業時に適宜配布する。
30%	10%	60%	—	—	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

保育所はわが国の社会福祉制度のしくみの一つである。社会福祉の意義と歴史の変遷、制度や実施体系、相談援助、利用者の保護、動向と課題について学ぶ。授業は講義を中心に進めていくが、必要に応じて映像教材やディスカッションなどを取り入れていく。リアクションペーパーは翌授業でフィードバックし、レポート・定期試験は返却する。

## 【授業の到達目標】

- ・ 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉におけるこども家庭支援の視点について理解し、説明できる。
- ・ 社会福祉の制度や実施体系等について理解し、説明できる。
- ・ 社会福祉における相談援助について理解し、説明できる。
- ・ 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解し、説明できる。
- ・ 社会福祉の動向と課題について理解し、説明できる。

## 【実務経験】

児童養護施設での実務経験を活かし、実際の現場の様子を紹介しながら実践的に授業を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	イントロダクション レポート①について 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷①：社会福祉の理念と歴史の変遷	予習) 教科書第1章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
2	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷②： こども家庭支援と社会福祉	予習) 教科書第2章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
3	社会福祉の制度と実施体系①：社会福祉の制度と法体系	予習) 教科書第3章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
4	社会福祉の制度と実施体系②：社会福祉行財政と実施機関、社会福祉施設等	予習) 教科書第4章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
5	社会福祉の制度と実施体系③：社会福祉の専門職	予習) 教科書第5章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
6	社会福祉の制度と実施体系④：社会保障および関連制度の概要	予習) 教科書第6章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
7	社会福祉における相談援助①：相談援助の理論 レポート①縮切日 レポート②について	予習) 教科書第7章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
8	社会福祉における相談援助②：相談援助の意義と機能	予習) 教科書第8章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
9	社会福祉における相談援助③：相談援助の対象と過程	予習) 教科書第9章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
10	社会福祉における相談援助④：相談援助の方法と技術 レポート①返却 (予定)	予習) 教科書第10章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
11	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	予習) 教科書第11章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成		1時間 2時間
12	社会福祉の動向と課題①：少子高齢化社会における子育て支援 レポート②縮切日 定期試験について	予習) 教科書第12章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		1時間 2時間
13	社会福祉の動向と課題②：共生社会の実現と障害者施策	予習) 教科書第13章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		1時間 2時間
14	社会福祉の動向と課題③：在宅福祉・地域福祉の推進	予習) 教科書第14章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		1時間 2時間
15	社会福祉の動向と課題④：諸外国の社会福祉の動向 レポート②返却 (予定) まとめ	予習) 教科書第15章 Step1・2を読んで内容をまとめる 復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備		1時間 2時間

## \*担当者からのメッセージ\*

この科目は、保育の本質・目的に関する科目の一つです。全ての人の「ふ」だんの「く」らしが「し」あわせになるために求められることについて学びます。保育実習に向けて、社会福祉に対する理解を深めていきましょう。

対話を通してともに学びを深めていくために、積極的に授業に参加してください。オフィスアワーは授業終了後の休み時間です。



開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年後期		社会的養護Ⅰ (H I E 5)		講義	星田 由哉
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 相澤仁・林浩康, 2019, 『新・基本保育シリーズ ⑥ 社会的養護Ⅰ』, 中央法規出版.	
2単位		—	—	○	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	参考書 授業時に適宜紹介する。
30%	10%	60%	—	—	教材 授業時に適宜配布する。
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

社会的養護は各種の困難がある子どもを社会的に保護・援助するしくみである。子どもの人権、社会的養護の意義と歴史の変遷、制度、形態、課題等を学ぶ。授業は講義を中心に進めていくが、必要に応じて映像教材やディスカッションなどを取り入れていく。リアクションペーパーは翌授業でフィードバックし、レポート・定期試験は返却する。

#### 【授業の到達目標】

- ・ 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解し、説明できる。
- ・ こどもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解し、説明できる。
- ・ 社会的養護の制度や実施体系等について理解し、説明できる。
- ・ 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解し、説明できる。
- ・ 社会的養護の現状と課題について理解し、説明できる。

#### 【実務経験】

児童養護施設での実務経験を活かし、実際の現場の様子を紹介しながら実践的に授業を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	イントロダクション レポート①について 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷①：社会的養護の理念と概念	予習) 教科書第1章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
2	現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷②：社会的養護の歴史の変遷	予習) 教科書第2章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
3	社会的養護の基本①：こどもの人権擁護と社会的養護	予習) 教科書第3章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
4	社会的養護の基本②：社会的養護の基本原則	予習) 教科書第4章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
5	社会的養護の基本③：社会的養護における保育士等の倫理と責務	予習) 教科書第5章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
6	社会的養護の制度と実施体系①：社会的養護の制度と法体系 レポート①縮切日 レポート②について	予習) 教科書第6章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
7	社会的養護の制度と実施体系②：社会的養護のしくみと実施体系	予習) 教科書第7章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
8	社会的養護の制度と実施体系③：社会的養護とファミリーソーシャルワーク	予習) 教科書第8章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
9	社会的養護の対象・形態・専門職①：社会的養護の対象と支援のあり方 レポート①返却（予定）	予習) 教科書第9章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
10	社会的養護の対象・形態・専門職②：家庭養護と施設養護	予習) 教科書第10章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
11	社会的養護の対象・形態・専門職③：社会的養護にかかわる専門職	予習) 教科書第11章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化とレポート作成	2時間	
12	社会的養護の現状と課題①：社会的養護に関する社会的状況 レポート②縮切日 定期試験について	予習) 教科書第12章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備	2時間	
13	社会的養護の現状と課題②：施設等の運営管理の現状と課題	予習) 教科書第13章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備	2時間	
14	社会的養護の現状と課題③：被措置児童等の虐待防止の現状と課題	予習) 教科書第14章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備	2時間	
15	社会的養護の現状と課題④：社会的養護と地域福祉の現状と課題 レポート②返却（予定）まとめ	予習) 教科書第15章 Step1・2を読んで内容をまとめる	1時間	
		復習) 授業内容の整理・精緻化と定期試験準備	2時間	

#### \*担当者からのメッセージ\*

この科目は、保育の本質・目的に関する科目の一つです。社会全体で子どもを守り、育てるしくみについて学びます。保育実習に向けて、社会的養護に対する理解を深めていきましょう。

対話を通してともに学びを深めていくために、積極的に授業に参加してください。オフィスアワーは授業終了後の休み時間です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年後期		こどもの理解と援助 ( H I F 2 )		演習	佐々木 由美子
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省)					
教 材 適宜資料を配布する					
評価方法・基準					
レポート	リアクションペーパー	事例考察	実技	授業態度	
50%	20%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

この授業は、「保育との関連で子どもの発達の過程や学びの過程について学ぶこと」「子どもの心身の状態や行動等を把握する技術を高め、子ども理解に基づく適切な発達援助を行うこと」を目的として開設されている。保育に関する専門家として、この授業における学びを実践の保育の場で生かせるよう、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討を含めた演習課題とディスカッションなどを実施し、授業の中で解説（フィードバック）を行う。

## 【授業の到達目標】

- ・子どもの心身の発達と保育実践について理解し、説明できる。
- ・子どもの経験や学習の過程を理解し、説明できる。
- ・保育における発達援助のあり方について理解し、説明できる。

## 【実務経験】

保育士として子育て支援に関わった経験を生かして、保育における発達援助について実践的に授業を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	授業概要 子ども理解における発達の把握	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
2	個人差や発達過程に応じた保育	予習	保育・教育課程の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
3	身体感覚をともなう多様な経験と環境との相互作用	予習	子どもの身体機能の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
4	子ども相互の関わりと関係づくり	予習	子どもの愛着形成過程の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
5	子ども集団と保育の環境	予習	集団力学の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
6	子どもの生活と学び	予習	学びと欲求の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
7	子どもの遊びと学び	予習	社会的遊びの下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
8	自己主張と自己抑制	予習	自我の発達の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
9	主体性の形成	予習	主体的活動の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
10	生涯にわたる生きる力の基礎を培う	予習	生きる力の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
11	発達と学びの連続性と就学支援	予習	発達の連続性の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
12	発達援助における協働	予習	保育現場での協働の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
13	発達の課題に応じた援助やかかわり	予習	子どもの多様性の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
14	現代社会における子どもの発達と保育の課題	予習	保護者支援の下調べ	0.5時間
		復習	授業内で扱った事例について考察	1時間
15	まとめと振り返り	予習	これまでの授業についてまとめる	1時間
		復習	レポート作成	1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

事例を多く扱います。双方向的授業になるよう積極的に授業に参加してください。オフィスアワーは金曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
1年後期		乳児保育Ⅰ ( H I G 1 )		講義	加藤 房江
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	30%	40%	10%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書 「講義で学ぶ乳児保育」					
参考書 「保育所保育指針解説」 (平成30年3月厚生労働省編 フレーベル館)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(平成30年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館)					
教材 適宜資料を配布する					

## 授 業 概 要

## 【授業の内容・方法】

乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状・課題等を理解する。3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容と運営体制についての理解や乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について学び、理解を深める。授業は講義とした内容で進める。リアクションペーパー・事例検討・課題は授業の中でフィードバックし、共有する。

## 【授業の到達目標】

1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷・役割、現状と課題について理解できる。
2. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容や運営体制について理解できる。
3. 乳児保育の職員間の連携・協働、保護者や地域の関係機関との連携、乳児保育の現状・課題等を理解できる。

## 【実務経験】

保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、実際の保育現場の心構えや乳児保育の基本などを習得できるよう授業を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 乳児保育の目的と役割・養護と教育の一体性	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握 復習) 授業内容のまとめを行う		1時間 1時間
2	「育みたい資質・能力」と乳児保育のニーズの高まり	予習) 教科書 P16～20保育指針P60を精読 復習) 授業内容のまとめを行う		1時間 1時間
3	歴史の変遷と多様な場面の乳児保育	予習) 歴史の変遷について文献で調べる 復習) 授業内容のまとめを行う		1.5時間 1時間
4	0・1・2歳児の発達とアタッチメント	予習) 教科書 P28～35を精読する 復習) 0歳から3歳までの発達をまとめる		1時間 1.5時間
5	0歳児の保育内容	予習) 教科書 P48～63を精読する 復習) 0歳の保育内容をまとめる		1時間 1.5時間
6	1歳以上3歳未満児の保育内容	予習) 教科書 P36～47を精読する 復習) 1歳から3歳までの保育内容をまとめる		1時間 1.5時間
7	乳児の生活の基本1 (離乳食・幼児食・アレルギー)	予習) 文献や教科書 P82～86を精読する 復習) 乳児の生活の基本1についてまとめる		1時間 1時間
8	乳児の生活の基本2 (睡眠・排泄)	予習) 文献や教科書 P86～93を精読する 復習) 乳児の生活の基本2についてまとめる		1時間 1時間
9	乳児の生活の基本3 (着脱・保育における安全対策)	予習) 教科書 P94～101/P76～81を精読する 復習) 園の安全対策を調べまとめる		1時間 1時間
10	乳児の遊び	予習) 文献や教科書 P102～115を精読する 復習) 手作りおもちゃや絵本を調べ親しむ		1.5時間 2時間
11	乳児保育の環境構成	予習) 文献や教科書 P102～115を精読する 復習) 乳児保育の環境構成の考えまとめる		1.5時間 1時間
12	乳児保育における全体的な計画	予習) 保育指針P38～58教科書 P124～133精読 復習) 全体的な計画について復習する		1時間 2時間
13	乳児保育における子育て支援	予習) 文献や教科書 P134～143を精読する 復習) 地域の子育て支援について調べまとめる		1時間 1時間
14	乳児保育における連携・協働	予習) 文献や教科書 P144～147を精読する 復習) 乳児保育における連携・協働をまとめる		1時間 1時間
15	事例検討 まとめと振り返り	予習) 乳児保育について自分の考えをまとめる 復習) 乳児保育の基本について振り返る		1時間 1時間

## \*担当者からのメッセージ\*

乳児期は人が成長していく上でとても重要な時期です。そこに関わる保育者として乳児保育の基本や発達の理解、保育内容、関わり方についてしっかり学んでいきましょう。積極的な態度で授業に臨んでください。オフィスアワーは、授業終了後の休み時間です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	こどもと音楽（うた） （ H I G 8 # ）			演習	千葉あかね
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 うたってひいて童謡びっこりーの（共同音楽出版社） 仏教聖歌 参考書
1単位	*	*	* #		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	教材
70%	—	—	10%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

基礎的な呼吸法・発声法を習得し、保育者としてのびのびと表情豊かに歌唱する能力を高めていく。  
 授業は理論を取り入れた演習で行い、グループワークや全体の実践として進める。  
 個人での発表を行うことで、人前で表現する能力を高める。  
 また、校歌、仏教聖歌については、随時授業に取り入れていく。  
 定期試験に向けてグループ・個人で発表を行い、フィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・声を出すことに慣れ、歌うことの楽しさを知り実践できる。
- ・歌の内容を理解して、暗譜で歌うことができる。
- ・積極的に声を出し、表情豊かに歌うことができる。

#### 【実務経験】

幼児のグループレッスンの実務経験を活かし、理論と幼児の音楽活動の現場の様子を実践的に捉えて講義を行う。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	友だちと遊べる歌 コミュニケーションをとりながら歌える歌について	予習) シラバスを読み授業内容を確認する	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
2	呼吸法と発声法 基礎的な呼吸法・発声法を学ぶ	予習) びっこりーの目次から春の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
3	楽しく歌おう① 動きを取り入れながら、楽しく歌う体験をする	予習) びっこりーの目次から夏の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
4	楽しく歌おう② 子どもの発達と歌唱について	予習) びっこりーの目次から秋の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
5	生活の歌① 子どもの生活と歌のつながりについて	予習) びっこりーの目次から冬の歌を探す	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
6	生活の歌② 季節や行事に適した歌の選び方と導入について	予習) 音楽用語について調べる	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
7	春の歌① 場面をイメージしながら歌唱する	予習) 音楽用語について調べる	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
8	春の歌② リズムと音程の確認、歌詞の音読	予習) 音楽用語について調べる	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
9	夏の歌① リズムと音楽記号の確認、歌詞の音読	予習) 音楽用語について調べる	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
10	夏の歌② グループごとに暗譜で歌唱する	予習) 音楽用語について調べる	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
11	秋の歌① 日本語の響きの美しさ、言葉の大切さについて	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
12	秋の歌② 最適な演奏速度について、歌詞の音読	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
13	冬の歌① 演奏順序の確認、歌詞の音読	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
14	冬の歌② 歌唱力を高め、レパートリーを広げる	予習) 前回の授業で指定の歌の歌詞を書く	復習) 授業で取り扱った歌の練習	1.5時間 1.5時間
15	まとめ 試験を想定して暗譜で独唱する	予習) 呼吸法・発声法を意識して暗譜で歌う	復習) 試験曲の練習	1.5時間 1.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

歌うことは『自分』という世界にたった1つしかない楽器を奏で、表現することです。自信を持って声を出して、歌うことでコミュニケーションをとる楽しさを体験しましょう。  
 なお、オフィスアワーは授業終了後の休み時間内です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年前期	保育教材研究Ⅰ(表現シアター) (H I G I O #)			演習	柿沼友岐
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書なし 参考書なし 教材 適宜配布  ※エプロンシアター材料(各自負担)
1単位	—	—	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題作品	実技展開	授業態度	
—	—	20%	40%	40%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、教育・保育の場面でに行われているエプロンシアターやパネルシアターを自ら製作し、子どもの興味や保育者の配慮等を考える。さらに現場で活用するための知識や技術を身に付ける。

授業形態は、個人による製作と演習形式を中心とする。展開実習については、講評・解説等フィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・エプロンシアターとパネルシアターを各1作品ずつ製作する。
- ・エプロンシアターとパネルシアターの知識や演じる技術を身に付け、実践の場で活用・応用できるようになる。

#### 【実務経験】

幼稚園教諭と‘あそびうたとどけ隊’としての実務を生かして、現場で活用するための表現シアター技術を指導する。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	・エプロンやパネルを観て様々な種類を確認し、イメージを膨らませる	予習) パネル・エプロン作品の動画を観る	復習) 自分の作りたい作品を決める	0.5時間 1時間
2	・パネルシアターの製作1 (Pペーパーに鉛筆で下描き)	予習) 作りたい作品の型紙を準備する	復習) 下書きを全て終わらせる	0.5時間 2時間
3	・パネルシアターの製作2 (アクリルガッシュで着色)	予習) 下書きパーツの確認・絵具類の準備	復習) 色塗りを進める	1時間 2時間
4	・パネルシアターの製作3 ・エプロンシアターの選択	予習) 色塗りを進める	復習) 色塗りを進める	2時間 2時間
5	・エプロンシアターの製作1 (フェルトに型を写し裁つ)	予習) 作りたい作品を決め、型紙を準備する	復習) フェルトに型を全て写す	1時間 2時間
6	・エプロンシアターの製作2 (フェルトを縫う)	予習) 写した型に沿ってフェルトを裁つ	復習) フェルト人形作りを進める	2時間 2時間
7	・エプロンシアターの製作3 (人形に綿を詰め仕上げる)	予習) フェルト人形作りを進める	復習) フェルト人形作りを進める	2時間 2時間
8	・エプロンシアターの製作4 (エプロンに仕掛けをつける)	予習) エプロンに必要な材料を揃える	復習) エプロンを縫って仕上げる	2時間 2時間
9	・パネルシアターの製作4 (油性ペンで縁取り、切って仕上げる)	予習) 色塗りを全て終わらせる	復習) 仕掛けなど全てを終わらせ仕上げる	1時間 1時間
10	・演じ方を考える・展開案の作成① (導入→展開→まとめの確認)	予習) 演じるものを決め、台本を準備する	復習) 展開案を完成させる	0.5時間 1時間
11	・展開案の作成② (展開案の添削・返却)	予習) 展開案に沿って練習し、時間配分を決める	復習) 修正箇所等を整理し、不足の言葉を追加する	1時間 1時間
12	・展開実習1 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿ってしっかりと練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
13	・展開実習2 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿って練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
14	・展開実習3 (展開案をもとに発表・受け手としての評価)	予習) 展開案に沿って練習する	復習) 自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	3時間 1時間
15	・まとめ フィードバック (学習の振り返り・保育者としての技術の確認)	予習) 両方の作品の完成を確認する	復習) 現場での展開ポイントをまとめておく	0.5時間 1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

とても根気のいる製作となりますが、世界でたったひとつのあなたの作品。一生大切に使うことができる温かい作品を作っていきます。そして、あなたらしく演じられる技術を身に付けていきましょう。オフィスアワーは授業終了後となります。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者	
1年前期	保育教材研究Ⅱ（あそび歌） （H I G 1 1 #）			演習	柿沼友岐	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書なし 参考書 コロムビアミュージックエンタテイメント株式会社 なかよしあそびうた 2500円+税 教材 NHKエンタープライズケロポンズとあそぼう！	
1単位	—	—	#			
評価方法・基準						
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技展開	授業態度		
—	—	10%	40%	50%		
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、保育の様々な場面で行われているあそび歌を知るとともに、子どもの前に立って展開していく上での技術や知識を身に付けていく。授業形態は演習を中心とするが、グループワーク等も取り入れて行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・あそび歌の幅の広さを知る。
- ・あそび歌の知識や展開する技術を身に付け、実践の場で活用・応用できるようになる。

#### 【実務経験】

幼稚園教諭と「あそびうたとどけ隊」としての実務を生かして、現場で活用するためのあそび歌技術を指導する。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	・あそび歌を考える （GWにてあそび歌とは何かを考える）	予習	あそび歌とは何かをイメージする	0.5時間
		復習	授業への取り組み目標を決める	0.5時間
2	・伝達技術を考える1 （言語伝達・非言語伝達 話すと聴く）	予習	展開するのに必要なことは何かを考える	0.5時間
		復習	伝達技術を意識して生活をする	常に
3	・伝達技術を考える2 （より良い伝達のためのトレーニング）	予習	知っているあそび歌を挙げる	1時間
		復習	伝達技術を意識して生活をする	常に
4	・手あそび1（色々な手あそびを身に付ける）	予習	滑舌トレーニング	0.5時間
		復習	学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間
5	・手あそび2（色々な手あそびを身に付ける） ・ふれあいあそび（歌に合わせてふれあうあそび）	予習	ふれあい遊びを調べる	0.5時間
		復習	学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間
6	・手あそび3（色々な手あそびを身に付ける） ・DVD鑑賞	予習	滑舌トレーニング	0.5時間
		復習	学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間
7	・手あそび4（色々な手あそびを身に付ける） ・絵本・紙芝居（メロディーにのせて読む）	予習	歌に合わせて読む絵本や紙芝居を調べる	1時間
		復習	学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間
8	・手あそび5（色々な手あそびを身に付ける） ・DVD鑑賞	予習	滑舌トレーニング	0.5時間
		復習	学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間
9	・手あそび6（色々な手あそびを身に付ける） ・絵描き歌	予習	絵描き歌を調べる	1時間
		復習	学んだあそび歌をシートにまとめる	1時間
10	・一つのあそび歌の展開案を作成する	予習	自分の展開したいあそび歌を決める	0.5時間
		復習	展開案を仕上げる	1.5時間
11	・添削された展開案をもとに実習の準備をする	予習	展開案をもとに流れをイメージする	1時間
		復習	展開案を訂正し足りない言葉を加えていく	1時間
12	・展開実習1 （展開案をもとに発表・受け手としての評価）	予習	展開案に沿ってしっかりと練習する	3時間
		復習	自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	1時間
13	・展開実習2 （展開案をもとに発表・受け手としての評価）	予習	展開案に沿ってしっかりと練習する	3時間
		復習	自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	1時間
14	・展開実習3 （展開案をもとに発表・受け手としての評価）	予習	展開案に沿ってしっかりと練習する	3時間
		復習	自分や仲間の展開を振り返りより良い展開を考える	1時間
15	・まとめ フィードバック （学習の振り返り・保育者としての技術の確認）	予習	今まで書き溜めたシートをまとめる	1時間
		復習	現場での展開ポイントをまとめておく	1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

「たのしいな」で終わるのではなく、「自分がうまく展開できるようになるためには」ということを考えていきましょう。トレーニングで自己のレベルアップを目指すとともに、周囲からたくさん刺激を受け、自分らしく展開できるようになりましょう。オフィスアワーは授業終了後となります。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
1年後期	レクリエーション実技 ( H I G 1 6 # )			演習	柿沼友岐
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書	
1単位	—	—	#	楽しさをとおした心の元気づくり 公益財団法人日本レクリエーション協会 1800円+税	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技展開	授業態度	参考書
—	—	10%	40%	50%	レクリエーション支援の方法 公益財団法人日本レクリエーション協会 800円+税
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教材 適宜配布					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

ホスピタリティを意識し、相手との信頼関係を築く技術や、アイスブレイキングの技術を用いて、個人や集団とのコミュニケーションを促進させる技術を身に付けていく。ハードル設定やCSSプロセスの技術を用いて自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開方法を身に付ける。授業形態は演習を中心にグループワーク等を取り入れて行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・様々なコミュニケーションスキルを獲得し、レクリエーション支援を実践できるようにする。
- ・レクリエーション・インストラクター資格の技術を身に付け、実践できるようにする。

#### 【実務経験】

幼稚園教諭とレクリエーション・コーディネーターの実務を生かし、レクリエーション活動の展開方法を指導する。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	オリエンテーション (レクリエーションとは何かを考える)	予習 レクリエーションとは何かイメージしておく	0.5時間
		復習 今後の目標を立て、意欲を高めておく	0.5時間
2	信頼関係づくりの方法1 (ホスピタリティの意味・配慮)	予習 ホスピタリティの意味を調べる	0.5時間
		復習 常にホスピタリティを意識した生活をする	常に
3	信頼関係づくりの方法2 (対象者とのコミュニケーション技術)	予習 滑舌トレーニング	0.5時間
		復習 滑舌・表情トレーニング(毎日)	0.5時間
4	良好な集団づくりの方法1 (アイスブレイキングとは)	予習 小中高で体験したゲームを挙げる	0.5時間
		復習 体験したアクティビティを振り返る	1時間
5	良好な集団づくりの方法2 (アイスブレイキング・モデル)	予習 3つの段階を確認し、ゲームを振り分ける	1時間
		復習 授業以外で体験したゲームを表に記入	0.5時間
6	良好な集団づくりの方法3 (効果を高める支援技術)	予習 30分のプログラムを展開する場面を想定	0.5時間
		復習 授業以外でも技術を意識する(常に)	常に
7	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法1 (ハードル設定とは)	予習 ハードル設定とは何かを確認	0.5時間
		復習 学んだゲームの難易度順を確認し記入	1時間
8	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法2 (ハードル設定の実際)	予習 ハードル設定をするゲームを決める	0.5時間
		復習 1つのゲームをハードル設定を用いて立案	1時間
9	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法3 (レク活動のアレンジ)	予習 アレンジとは何かをテキストで確認	0.5時間
		復習 年齢に合わせたアレンジを考える	1時間
10	自主的、主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開方法4 (CSSプロセス)	予習 CSSプロセスとは何かをテキストで確認	0.5時間
		復習 授業以外でCSSプロセスを見つける	1時間
11	レク支援のプログラムの立案1 (立案1)	予習 展開する場面・対象を考えておく	1時間
		復習 プログラムを仕上げる	1時間
12	レク支援のプログラムの立案2 (立案2)	予習 訂正箇所を確認・訂正	1時間
		復習 プログラムに不足の言葉を付け加える	1時間
13	レク支援の実施1 (プログラムを用いたレク支援の施行)	予習 プログラムを基に、展開のイメージ練習	3時間
		復習 展開を振り返り、反省点や気づきを記入	1時間
14	レク支援の実施2 (プログラムを用いたレク支援の施行)	予習 プログラムを基に、展開のイメージ練習	3時間
		復習 仲間の展開も自分で活かせるようメモ	1時間
15	レク支援の実施3 (施行に対する評価・プログラムの改善)	予習 プログラムを基に、展開のイメージ練習	3時間
		復習 仲間の展開も自分で活かせるようメモ	1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

インストラクター資格取得もできる授業となっています。コミュニケーションの方法を学ぶと、あたたかい投げかけのできる保育者を目指したくなりますね。オフィスアワーは、授業終了後となります。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	美術 ( I A 3 )			講義	都丸洋一
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 「中学校学習指導要領解説美術編」(平成29年7月 文部科学省)「高等学校学習指導要領解説芸術編」(平成30年7月 文部科学省) 教材 適宜資料を配付
2単位	—	—	—		
評価方法・基準					
定期試験	レポート課題	ファイル課題	実技	授業態度	
—	50%	30%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、美術に関する幅広い知識と感覚の両面からアプローチしていく。そのために、グループワークやディスカッションを取り入れ、美術の基礎知識の習得と豊かな感性を身につけていく。毎回、準備学習の課題意識を基盤にして、授業で追究し探究心をもって学んでいく。

#### 【授業の到達目標】

- ・美術作品の鑑賞を通して、美術分野全体に渡る豊かな知識と感性を高めることができる。
- ・美術の各分野における表現特性や基本的な表現技法など基礎知識を身につけることができる。
- ・美術の各分野の代表作品を多面的に鑑賞して味わい、豊かな感覚を育むことができる。

#### 【実務経験】

美術の表現や鑑賞の分野に40年以上にわたって携わってきた経験を生かして講義を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション —社会の中の美術—	予習 シラバスの内容や目標を把握する	復習 生活の中の美術についてまとめる	1時間 1時間
2	絵画の表現(1) —西洋絵画の表現の特質—	予習 西洋絵画の作品についてまとめる	復習 西洋絵画の特徴についてまとめる	1時間 1時間
3	絵画の表現(2) —日本絵画に観られる表現の特質—	予習 日本絵画の作品についてまとめる	復習 日本絵画の特徴についてまとめる	1時間 1時間
4	絵画の表現(3) —版画の表現方法と日本版画の特質—	予習 版画作品を1点選択してまとめる	復習 版画の表現の特徴をまとめる	1時間 1時間
5	絵画作品の鑑賞(絵画による表現のまとめ)	予習 絵画作品の鑑賞についてまとめる	復習 絵画作品を1点選択してまとめる	1時間 1時間
6	彫刻の表現(1) —彫刻に観られる様々な表現—	予習 西洋の彫刻についてまとめる	復習 西洋の彫刻の特徴をまとめる	1時間 1時間
7	彫刻の表現(2) —彫刻による表現の特質—	予習 日本の彫刻についてまとめる	復習 日本の彫刻の特徴をまとめる	1時間 1時間
8	彫刻作品の鑑賞(彫刻による表現のまとめ)	予習 彫刻作品の鑑賞についてまとめる	復習 彫刻作品を1点選択してまとめる	1時間 1時間
9	デザインの表現(1) —デザインに観られる様々な表現—	予習 海外のデザインについてまとめる	復習 デザイン表現の特徴をまとめる	1時間 1時間
10	デザインの表現(2) —デザインによる表現の特質—	予習 日本のデザインについてまとめる	復習 日本のデザインについてまとめる	1時間 1時間
11	デザイン作品の鑑賞(デザインによる表現のまとめ)	予習 デザインの鑑賞についてまとめる	復習 デザインを1点選択してまとめる	1時間 1時間
12	工芸の表現(1) —工芸に観られる様々な表現—	予習 工芸の作品についてまとめる	復習 工芸の分野についてまとめる	1時間 1時間
13	工芸の表現(2) —工芸による表現の特質—	予習 焼き物の作品についてまとめる	復習 焼き物について特徴をまとめる	1時間 1時間
14	工芸作品の鑑賞(工芸における表現のまとめ)	予習 工芸作品の鑑賞についてまとめる	復習 工芸作品を1点選択してまとめる	1時間 1時間
15	まとめと振り返り(美術作品の表現と鑑賞)	予習 この授業で学んだことをまとめる	復習 学修成果の活かし方をまとめる	1時間 1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

人類の歴史が生み出した美術作品の中から各分野の代表作品を鑑賞して、「あーじゃない」「こーじゃない」と語り合いましょう。なお、オフィスアワーは水曜日5コマ目です。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年通年	体育実技 ( Y H I E 2 )			実技	小野 覚久
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 なし 教材 適宜配布	
1単位	○	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	10%	10%	30%	50%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

各種運動の特性を学ぶ。また、運動を通して仲間との協力、心身の解放感、ノンバーバルなコミュニケーション能力を高める。

そして、運動不足からの疾病が生活習慣病として取り上げられている現代の状況を理解するとともに、その改善のために生涯にわたり身体運動を楽しむ、その意味付けが出来るような基礎を、実際に身体を動かしながら学ぶ。身体動作について、随時フィードバックしながら実技形式で授業を展開する。

#### 【授業の到達目標】

・身体の動きを知り、実践を通して捉えることが出来る。

#### 【実務経験】

・スポーツ指導者資格と障がい者スポーツ指導者資格を持った教員の指導のもと、理論を含めた科学的な運動の実施方法を学修する。

授業計画		準備学習（予習・復習）	準備学習時間
1	ガイダンス 授業内容、方法について	予習) 体力とその保持増進について調べる 復習) 授業の進め方（準備運動）を確認する	1.5時間 1.5時間
2	フィットネス 基礎的基本的な身体運動	予習) 一般的な運動について調べる 復習) 一般的な運動についてまとめる	1.5時間 1.5時間
3	Co-ordination Training (Basic) レクリエーションの運動	予習) レクリエーション運動について調べる 復習) 実施した運動の内容についてまとめる	1.5時間 1.5時間
4	体力測定・形態測定等 (1)	予習) 体力測定とその方法について調べる 復習) 測定方法の確認と自己評価をする	1時間 2時間
5	体力測定・形態測定等 (2)	予習) 体力測定とその方法について調べる 復習) 測定方法の確認と自己評価をする	1時間 2時間
6	陸上競技系の運動： 幼児体育につながる陸上運動 かけっこ、リレーなど	予習) 走競技と走運動について調べる 復習) 陸上競技系の運動についてまとめる	1.5時間 1.5時間
7	バレーボール (1) 基礎技能の習得 パスやサービス	予習) バレーボールの基礎技能について調べる 復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間 1.5時間
8	バレーボール (2) グループによる基礎練習と応用、簡易ゲーム	予習) バレーボールの集団的技術について調べる 復習) 集団的技術の振り返りとまとめをする	1.5時間 1.5時間
9	バレーボール (3) 応用技術 ゲームの実践	予習) バレーボールのルールについて調べる 復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間 1.5時間
10	パラスポーツ (1) ポッチャ、フライングディディスクのルール	予習) 障がい者スポーツについて調べる。 復習) ポッチャ等のルールをまとめる。	1.5時間 1.5時間
11	パラスポーツ (2)	予習) ポッチャ等の試合運びについて調べる 復習) ポッチャ等の試合運びをまとめる。	1.5時間 1.5時間
12	器械運動： 幼児体育につながる器械運動	予習) 器械運動の種類を調べる 復習) 器械運動についてまとめる	1.5時間 1.5時間
13	卓球 (1) 基礎技能の習得 フォア・バックハンドストローク、サービス等	予習) 卓球の基礎技能について調べる 復習) 基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間 1.5時間
14	卓球 (2) 応用技能 カット、スマッシュ、簡易ルールによるゲームの実践	予習) 卓球の応用技能について調べる 復習) ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間 1.5時間
15	体力測定・形態測定等 (3)	予習) 体力測定とその方法を振り返る 復習) 前回の測定値と比較し、改善計画を立てる	1時間 2時間

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
16	バドミントン (1) 基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等	予習	バドミントンの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習	基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
17	バドミントン (2) 応用技能 サービス ルール ゲームの進め方	予習	バドミントンの応用技能について調べる	1.5時間
		復習	応用技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
18	バドミントン (3) 応用技能 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習	バドミントンの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習	ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
19	バスケットボール (1) 基礎技能の習得 パス練習 3対2の攻防等	予習	バスケットボールの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習	基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
20	バスケットボール (2) 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習	バスケットボールの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習	ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間
21	サッカー〔フットサル〕(1) 基礎技能の習得 キック、パス練習	予習	フットサルの基礎技能について調べる	1.5時間
		復習	基礎技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
22	サッカー〔フットサル〕(2) 応用技能の習得 連携、攻撃等の練習	予習	フットサルの応用技能について調べる	1.5時間
		復習	集団的技能の振り返りとまとめをする	1.5時間
23	サッカー〔フットサル〕(3) 応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践	予習	フットサルの試合運びについて調べる	1.5時間
		復習	ゲームの振り返りとまとめをする	1.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

保育者にとって大切な「体力」に関して、楽しく身体を動かしながら学び、運動やスポーツの方法とルールを理解するとともに、個人的技能や集団的技能、スポーツとコミュニケーションについて考えてみよう。  
オフィスアワーは水曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		保育内容総論 ( Y H I B 1 )		演習	佐々木 由美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	○	○	○		
教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省)					
教材 適宜資料を配布する					
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**  
この授業は、これまでに学んできた各領域に関する知識や実践で得た内容を振り返りながら、総合的に保育を捉えて学ぶことを目的とする。保育に関する専門家として、この授業における学びを実践の保育の場で生かせるよう、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討や調べ学習・発表を行って考えを深める。リアクションペーパーを記入して、授業の中でフィードバックし、共有する。

**【授業の到達目標】**  
・保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい10の姿」と「保育内容」の関連を理解し、説明できる。  
・保育の全体的な構造を理解し、説明できる。  
・保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解し、説明できる。  
・保育の多様な展開について具体的に理解し、説明できる。

**【実務経験】**  
保育士として子育て支援に関わった経験を生かして、保育内容について実践的に授業を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 保育のあるべき姿	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握 復習) 現在の自分の保育観をまとめる		0.5時間 1時間
2	保育の全体構造と保育内容① 3つの視点と5領域	予習) 3つの視点と5領域を整理 復習) 授業内の課題について考察		0.5時間 1時間
3	保育の全体構造と保育内容② 10の姿と幼少接続	予習) 10の姿について整理 復習) 授業内の課題について考察		0.5時間 1時間
4	保育の全体構造と保育内容③ 養護と教育が一体となった保育	予習) 養護と教育について整理 復習) 授業内の課題について考察		0.5時間 1時間
5	子どもの発達と保育内容 同年齢か・異年齢か (発表)	予習) 発表に備え資料作り 復習) 発表内容の考察		2時間 1時間
6	遊びによる総合的な保育 内容から・ねらいから (発表)	予習) 発表に備え資料作り 復習) 発表内容の考察		2時間 1時間
7	子どもの主体性と保育 自由保育・一斉保育 (発表)	予習) 発表に備え資料作り 復習) 発表内容の考察		2時間 1時間
8	個と集団の発達を踏まえた保育 全員参加・個人の自由 (発表)	予習) 発表に備え資料作り 復習) 発表内容の考察		2時間 1時間
9	長時間保育の賛否 (発表)	予習) 発表に備え資料作り 復習) 発表内容の考察		2時間 1時間
10	保育内容における遊びー遊びの定義と意義	予習) 遊びの意義について下調べ 復習) 授業内の課題について考察		0.5時間 1時間
11	保育内容における遊びー教材を生かす	予習) 子どもの遊びについて下調べ 復習) 授業内の課題について考察		0.5時間 1時間
12	保育現場が抱える課題ー保育者に求められること	予習) 保育現場の課題を整理する 復習) エゴグラムの考察		0.5時間 1時間
13	保育の計画と評価ー指導案を書く	予習) 指導案の書き方を復習 復習) 月案の作成		0.5時間 1時間
14	模擬保育	予習) 模擬保育の練習 復習) 模擬保育の振り返り		1時間 1時間
15	模擬保育 振り返り	予習) 模擬保育の練習 復習) 模擬保育の振り返り		1時間 1時間

**\*担当者からのメッセージ\***  
保育内容の集大成となる学びですので、自分の保育観を省察しましょう。双方向的授業になるよう積極的に授業に参加してください。オフィスアワーは金曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		保育者論 ( Y H I C 1 )		講義	佐々木 由美子
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	○	○		
教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省)					
教材 適宜配布					
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**  
この授業は、保育者に求められている資質や期待される役割を理解することを目的とし、保育者としての専門性を保育現場の実態から学ぶ。授業は講義を中心とするが、ディスカッションやカンファレンスも含め実践的内容を取り入れる。リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。定期試験は返却する。

**【授業の到達目標】**

- ・保育者の役割と倫理について理解し、説明できる。
- ・保育者の制度的な位置づけを理解し、説明できる。
- ・保育者の専門性について考察するとともに理解し、説明できる。
- ・保育者の連携・協働について理解し、説明できる。
- ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解し、説明できる。

**【実務経験】**  
保育士の実務経験を生かし、理論と保育現場の実際を総合的実践的に捉えて講義を行う。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 保育者とは：保育者の専門性について改めて考える	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	1時間
		復習	保育者の専門性についてまとめる	2時間
2	保育者の役割：保育の現場でどのような役割を果たすのかグループディスカッション・発表	予習	自分なりに保育者の役割をまとめる	1時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
3	保育者の制度的位置づけと倫理 全国保育士倫理綱領について学ぶ	予習	倫理綱領を熟読し、理解する	1時間
		復習	保育者の制度的位置づけをまとめる	2時間
4	保育者の専門性と資質・能力①：乳児の保育 保育カンファレンス	予習	乳児の発達についてまとめる	1.5時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	1.5時間
5	保育者の専門性と資質・能力②：3歳児の保育 保育カンファレンス	予習	3歳児の発達についてまとめる	1.5時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	1.5時間
6	保育者の専門性と資質・能力③：4歳児の保育 保育カンファレンス	予習	4歳児の発達についてまとめる	1.5時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	1.5時間
7	保育者の専門性と資質・能力④：5歳児の保育 保育カンファレンス	予習	5歳児の発達についてまとめる	1.5時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	1.5時間
8	保育者の専門性と資質・能力⑤：多様な子どもの保育 保育カンファレンス	予習	多様な子どもの発達についてまとめる	1.5時間
		復習	保育カンファレンスのまとめを行う	1.5時間
9	計画に基づく保育の実践と省察・評価 保育のPDCAについて	予習	教育実習で作成した指導案を見直す	1時間
		復習	デイリープログラムを作成する	2時間
10	地域や関連機関との連携・協働 多様な子育て支援サービスについて	予習	地域の関連機関について調べる	2時間
		復習	連携・協働の必要性の意味をまとめる	1時間
11	保育者の資質向上とキャリア形成 グループディスカッション・発表	予習	資質向上に必要なことについてまとめる	1.5時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	1.5時間
12	保育の質を向上させるためすべきこと グループディスカッション・発表	予習	資質向上に必要なことについてまとめる	1.5時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	1.5時間
13	保育者としての子育て支援 事例検討	予習	子育て支援とは何かについてまとめる	1時間
		復習	子育て支援の必要性についてまとめる	2時間
14	現代社会における保育者の課題 グループディスカッション・発表	予習	保育者の課題についてまとめる	1時間
		復習	ディスカッションのまとめを行う	2時間
15	連絡帳のやりとり（事例検討） まとめと振り返り	予習	自分の保育観をまとめる	1時間
		復習	定期試験の準備	2時間

**\*担当者からのメッセージ\***  
保育者は、倫理観に支えられた専門的知識や技術を持つ者として社会的に認められている専門職です。プロの保育者になるために、保育について一緒に考えていきましょう。保育カンファレンス・ディスカッションには積極的に参加してください。オフィスアワーは水曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		特別支援教育Ⅰ(障がい児保育含む) (YHIC4)		演習	林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「演習・保育と障害のある子ども」 野田敦史他・みらい・2017・2300円(税別) 教 材 適宜配布、および指示	
1単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技		
60%	10%	20%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

特別な支援を要する子ども(障がい児や発達に課題のある子ども、外国ルーツの子ども、LGBTQ等の性的違和感のある子ども)などについて、歴史的背景や課題の特性、対応などについて学ぶ。授業は講義とともに、ディスカッションや疑似体験など実践的内容を取り入れる。リアクションペーパー、課題などの内容を次回授業内でフィードバックする。

#### 【授業の到達目標】

- ・障がいの概念の歴史の変遷、特別支援教育に関する制度やシステムについて説明できる。
- ・障がいの特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について説明できる。
- ・外国ルーツの子どもやLGBTQの子どもへの対応について説明できる。
- ・特別な支援が必要な子どもへの興味関心をもち、保育者としての態度を考えることができる。

#### 【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準 備 学 習 時 間
1	オリエンテーション 特別な支援とは何かを知る	予習	シラバス確認、「特別支援」を調べる	0.5時間
		復習	授業内容の整理	0.5時間
2	障がいとは何か：障がいの捉え方について学ぶ 医学モデルと社会モデルについて理解をする	予習	医学・社会モデル確認	0.5時間
		復習	モデルのまとめ	0.5時間
3	障がい児を取り巻く保育の環境 インクルーシブ保育までの歴史的背景と概念を理解する	予習	障がい児保育の歴史を調べる	0.5時間
		復習	分離・統合・インクルーシブの保育確認	0.5時間
4	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(1) 知的障害：知能とは何かを知る	予習	知能とは何かを調べる	0.5時間
		復習	知能の概念をまとめる	0.5時間
5	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(2) 知的障害：ダウン症について知る	予習	ダウン症について調べる	0.5時間
		復習	障がい児の生命倫理について考える	0.5時間
6	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(3) 発達障害：自閉症スペクトラムについて知る①基礎的内容	予習	自閉症について調べる	0.5時間
		復習	自閉症スペクトラムについてまとめる	0.5時間
7	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(4) 発達障害：自閉症スペクトラムについて知る②実践的内容	予習	自閉症の動画を見る	0.5時間
		復習	自閉症への対応をまとめる	0.5時間
8	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(5) 発達障害：ADHDについて知る①基礎的内容	予習	ADHDについて調べる	0.5時間
		復習	ADHDについてまとめる	0.5時間
9	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(6) 発達障害：ADHDについて知る②実践的内容	予習	ADHDの動画を見る	0.5時間
		復習	ADHDへの対応をまとめる	0.5時間
10	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(7) 発達障害：LDについて知る	予習	LDについて調べる	0.5時間
		復習	LDへの対応をまとめる	0.5時間
11	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(8) 視覚障害について知る	予習	視覚障害の種類を調べる	0.5時間
		復習	視覚障害への対応をまとめる	0.5時間
12	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(8) 聴覚障害について知る	予習	聴覚障害の種類を調べる	0.5時間
		復習	聴覚障害への対応をまとめる	0.5時間
13	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(9) 肢体不自由児について知る	予習	肢体不自由について調べる	0.5時間
		復習	肢体不自由への対応をまとめる	0.5時間
14	特別な支援を要する子どもの理解と保育における発達援助(10) LGBTQや外国ルーツの子どもについて知る 全体のまとめと振り返り(小テスト)	予習	LGBTQとは何かを調べる	0.5時間
		復習	具体的支援についてまとめる	0.5時間
15	質問や授業内課題のフィードバック	予習	今までの学習内容を振り返る	0.5時間
		復習	学習の不足分を復習する	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

授業へはまじめに積極的に参加し、疑問点は担当教員になるべくその場で質問をして下さい。チャット等での質問も歓迎します。私語、居眠りなどは厳禁とします。提出物は期限を守って出してください。オフィスアワーは授業後の休み時間内です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		特別支援教育Ⅱ（障がい児保育含む） （ Y H I C 5 ）		演習	林 恵
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書 なし 参考書 「演習・保育と障害のある子ども」 野田敦史他・みらい・2017・2300円（税別） 教 材 適宜配布、および指示	
1単位	—	○	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	10%	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

**【授業の内容・方法】**

特別支援教育Ⅰで学んだことを基礎とし、特別な支援を要する子どもを含んだ集団が育ちあっていくためにはどうすればいいか、具体的場面を通して理解をする。指導計画や連携機関について具体的実践に基づいて学ぶ。授業は講義とともに、ディスカッションや疑似体験など実践的内容を取り入れる。リアクションペーパー、課題などの内容を次回授業内でフィードバックする。

**【授業の到達目標】**

- ・特別な支援を要する子どもを含む社会的集団の形成について説明できる。
- ・特別な支援を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について説明できる。
- ・特別な支援を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働・保育の課題について説明できる。
- ・特別な支援が必要な子どもへの興味関心をもち、保育者としての態度を考えることができる。

**【実務経験】**

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

授 業 計 画		準 備 学 習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション 特別支援教育Ⅰの振り返り	予習	シラバス確認	0.5時間
		復習	授業内容の整理	0.5時間
2	近年の特別支援教育の特徴 医療的ケア児への対応	予習	医療的ケアについて調べる	0.5時間
		復習	医療的ケア児の動画を見る	0.5時間
3	障害のある子どもの気持ちを知る ロールプレイを中心として	予習	Iで学んだ障害種を振り返る	0.5時間
		復習	ロールプレイの感想をまとめる	0.5時間
4	特別支援教育の実際（1）子ども同士の育ちあい・保育現場における生活と遊び環境の工夫	予習	I第3回授業内容を振り返る	0.5時間
		復習	インクルーシブ保育の状況をまとめる	0.5時間
5	特別支援教育の実際（2） 特別支援と保育の計画：指導計画と支援計画	予習	保育場面の計画種を調べる	0.5時間
		復習	指導計画と支援計画の違いをまとめる	0.5時間
6	特別支援教育の実際（3） 指導計画及び個別の支援計画の作成	予習	指導計画の記入欄を確認する	0.5時間
		復習	計画の書き方を確認する	0.5時間
7	特別支援教育の実際（4） 職員間の協働と連携：特別支援教育コーディネーター	予習	取り巻く職員種について調べる	0.5時間
		復習	特別支援教育コーディネーターについて復習	0.5時間
8	家庭と自治体・関係機関との連携（1） 障がいのある子どもを支える関係機関を知る	予習	支援機関を調べる	0.5時間
		復習	支援機関同士の連携をまとめる	0.5時間
9	家庭と自治体・関係機関との連携（2） 小学校への入学：小学校との連携を知る	予習	小学校への申し込みに必要な物を考える	0.5時間
		復習	具体的方法を振り返っておく	0.5時間
10	家庭と自治体・関係機関との連携（3） 家庭との連携について知る：障がいの受容①保護者	予習	親の気持ちを想像する	0.5時間
		復習	障害受容についてまとめる	0.5時間
11	家庭と自治体・関係機関との連携（4） 家庭との連携について知る：障がいの受容②きょうだい	予習	きょうだいの気持ちを想像する	0.5時間
		復習	様々な家族の形についてまとめる	0.5時間
12	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題（1） 課題の説明と選択	予習	障がい児を取り巻く現代社会の現状と課題を調べる	0.5時間
		復習	選択した課題について調べる	0.5時間
13	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題（2） 選択課題の作成	予習	選択した課題について調べる	0.5時間
		復習	選択した課題について調べる	0.5時間
14	特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題（3） 選択課題の発表	予習	選択した課題についてまとめる	0.5時間
		復習	レポートをまとめ、提出する	0.5時間
15	全体のまとめと振り返り：レポート等フィードバック	予習	今までの学習内容を振り返る	0.5時間
		復習	学習の不足分を復習する	0.5時間

**\*担当者からのメッセージ\***

授業へははじめに積極的に参加し、疑問点は担当教員になるべくその場で質問をして下さい。チャット等での質問も歓迎します。私語、居眠りなどは厳禁とします。提出物は期限を守って出してください。オフィスアワーは授業後の休み時間内です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者	
2年前期		教育方法論Ⅰ（多文化保育） （ Y H I D 5 a # ）		演習	佐々木 由美子	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜資料を配布する		
1単位	—	1単位以上 選択必修	#			
評価方法・基準						
レポート	アクションペーパー	課題	実技			授業態度
40%	20%	20%	—			20%
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない						

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

保育の多文化・国際化に対応できる保育者の育成を目的とし、多文化という状況を共に生きるインクルーシブ保育について、その理論と教育方法を理解する。擬似体験を通して多様な子どもを理解する。レポート課題や考察へのフィードバックを授業の中で行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・多文化共生保育の意義について理解し、説明できる。
- ・多文化保育における教育方法の基礎的理論と実践を理解し、説明できる。

#### 【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、多様な背景を持つ子どもへの支援について考える。

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	授業概要 多文化保育・教育とは何か—その理論と実践を理解する—	予習	シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
		復習	多文化保育・教育についてまとめる	1時間
2	海外における多文化保育の実際—その理論と実践を理解する—	予習	海外の保育について調べる	1時間
		復習	海外の保育について考察する	0.5時間
3	言語発達—ダブルリミテッドバイリンガル・幼児期の言語教育のあり方を理解する—	予習	外国籍児の言語の問題を調べる	1時間
		復習	言語教育について考察する	0.5時間
4	外国籍児を対象とした保育 —当事者としての外国籍保育士の役割—	予習	多文化保育の実践を調べる	1時間
		復習	外国籍保育士について考察する	0.5時間
5	行ったつもりで大泉—日本の中のブラジルを知る—	予習	大泉町について調べる	1時間
		復習	ニューカマーの人々について考察する	0.5時間
6	多様な子どもたちについて知る（1） —LGBT—	予習	LGBTについて調べる	1時間
		復習	LGBTについて考察する	0.5時間
7	多様な子どもたちについて知る（2） —子どもの貧困—	予習	子どもの貧困について調べる	1時間
		復習	子どもの貧困について考察する	0.5時間
8	多様な子どもたちについて知る（3） —LD（学習障害）—	予習	LDについて調べる	1時間
		復習	LD疑似体験を考察する	0.5時間
9	多様な子どもたちについて知る（4） —ADHD（注意欠陥多動性障害）—	予習	ADHDについて調べる	1時間
		復習	ADHD疑似体験を考察する	0.5時間
10	多様な子どもたちについて知る（5） —ASD（自閉症スペクトラム）—	予習	ASDについて調べる	1時間
		復習	ASDF疑似体験を考察する	0.5時間
11	発達障がい児への支援方法 —その理論と実践を理解する—	予習	支援法について調べる	1時間
		復習	支援法について考察する	0.5時間
12	特別なニーズのある児童の保育事例の検討 —翻訳ソフト等ICTの活用について—	予習	翻訳ソフトについて調べる	1時間
		復習	翻訳ソフトを実際に使ってみる	0.5時間
13	特別なニーズのある児童の保育事例の検討 —子ども理解に基づいた評価の考え方を理解する—	予習	合理的配慮について調べる	1時間
		復習	事例について考察する	0.5時間
14	多文化教育・夜間中学を知る	予習	夜間中学について調べる	1時間
		復習	夜間中学について考察する	0.5時間
15	まとめと振り返り	予習	これまでの授業を振り返りまとめる	0.5時間
		復習	レポートの作成	1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

多様な背景を持つ子どもへの支援について一緒に考えていきましょう。新型コロナウイルス感染の状況によっては学外授業を実施しますので、シラバスが変更になります。オフィスアワーは水曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		教育の方法と技術Ⅱ (YHID2#)		演習	茂木克浩
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	○	#		
評価方法・基準					
グループでの成果物	リアクションペーパー	レポート	提出物	授業態度	
20%	20%	30%	10%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書「保育をひらく造形表現」榎英子 萌文書林 内容に合わせて適宜紹介する 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

本授業では幼児の造形表現と遊びとの関係性について理解した上で、保育者としてそれを支えるためのより実践的な技能を身につけることを目的とする。一般的に「造形あそび」と言われる、作品制作を目的としないプロセスを重視した造形表現活動について学ぶ。授業は①造形あそびを体験する②それを発展させた展開例について考えるという流れで行っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内に講評、解説を行う。本授業の評価においては、素材や環境のもつ魅力を活かした独創的で多様な展開例を考えることができているかを重視する。

#### 【授業の到達目標】

- ・素材や環境のもつ魅力を活かした造形あそびを計画し、状況に合わせて多様な展開ができる。
- ・幼児の造形表現活動において、プロセスを見ることの大切さとその視点を理解できる。

#### 【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、造形表現のプロセスを見取る視点を具体的に示していく。

授業計画		準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	造形表現活動とあそび・造形あそびとは表現のプロセスを見ることは	予習 「あそび」について調べる	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
2	ドキュメンテーションとは	予習 ドキュメンテーションについて調べる	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
3	造形あそびⅠ—場所からの展開—	予習 場所をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
4	造形あそびⅡ—光からの展開—	予習 光をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
5	造形あそびから考える保育活動の立案Ⅰ(場所・光)	予習 場所・光をいかした活動について考える	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
6	造形あそびⅢ—色からの展開—	予習 色をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
7	造形あそびⅣ—身近な素材からの展開—	予習 様々な素材をいかした造形あそびについて調べる	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
8	造形あそびから考える保育活動の立案Ⅱ(色・素材)	予習 色・素材をいかした活動について考える	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
9	美術館の利用と対話型鑑賞	予習 美術館の教育普及活動と対話型鑑賞について調べる	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
10	造形あそびから考える模擬保育①(指導案作成)	予習 模擬保育で行いたい内容を考える	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
11	造形あそびから考える模擬保育②(準備)	予習 指導案を完成させる	1時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
12	造形あそびから考える模擬保育③(実践)	予習 模擬保育の準備を進める	1時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
13	造形あそびから考える模擬保育④(実践・討議)	予習 模擬保育の準備を進める	0.5時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
14	ドキュメンテーションの作成	予習 ドキュメンテーションのアイデアを考える	1時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間
15	ドキュメンテーションの発表・討議・まとめ	予習 発表の準備をする	1時間
		復習 学修内容をポートフォリオにまとめる	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

保育者には造形表現活動のプロセスから、子どもたちにおきている学びを読み取り、より魅力的な学びになるよう次の展開を考える力が必要になります。活動を考えたり、模擬保育を経験したりすることを繰り返すことで、保育者としての実践力が育つと考えます。他者と積極的に協力し多様な活動が展開されることを期待します。オフィスアワーは水曜5コマ目です。



開講学年・時期	授業科目名		授業形態	担当者	
2年後期	幼児理解と教育相談 ( Y H I D 4 # )		講義	都丸洋一	
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格	教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説」(平成30年3月文部科学省)「保育所保育指針解説」(平成30年3月厚生労働省)「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(平成30年3月文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布	
2単位	—	○	#		
評価方法・基準					
定期試験	ファイル課題	レポート課題	実技		授業態度
—	50%	—	20%		30%
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

**授業概要**

**【授業の内容・方法】**  
この授業では、幼児に関する基本的な特性について理解を深めるとともに、その知識を基礎にして保護者を想定した教育相談に関する基本的な力を身につける。そのために、ディスカッションやグループワークを取り入れたり学習資料をファイル化したりして、保育者に求められる基礎的な力を身につけていく。相談事例については、授業の中でフィードバックを行う。

**【授業の到達目標】**  
・幼児に関する基本的な特性を学び、幼児に関する理解を深めることができる。  
・カウンセリングマインドや保護者対応など、教育相談に関する基礎を身につけることができる。  
・初歩的な教育相談を行う力を身に付けることができる。

**【実務経験】**  
教育相談員としての経験や小・中学校や幼稚園で経験したことを生かして、実践に役立つ力が身につくよう授業を行う。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション (ガイダンス・幼児教育現場が抱える課題)	予習) シラバスで授業内容や目標を把握		1時間
		復習) 幼児教育の課題をまとめる		1時間
2	幼児理解(1) —幼児の発達特性—	予習) 幼児期の子どもの特徴をまとめる		1時間
		復習) 幼児の発達特性をまとめる		1時間
3	幼児理解(2) —幼児に見られる発達課題—	予習) 幼児の発達段階をまとめる		1時間
		復習) 幼児に見られる課題をまとめる		1時間
4	幼児理解(3) —幼児の成長の姿—	予習) 幼児の成長についてまとめる		1時間
		復習) 幼児の成長の姿をまとめる		1時間
5	保護者との連携(1) —保護者と幼児の関係—	予習) 保護者と幼児の関係をまとめる		1時間
		復習) 保護者と幼児の関係をまとめる		1時間
6	保護者との連携(2) —保護者の幼児への期待—	予習) 保護者との連携をまとめる		1時間
		復習) 保護者の幼児への期待をまとめる		1時間
7	保護者との連携(3) —保護者の抱える課題—	予習) 保護者の子育ての課題をまとめる		1時間
		復習) 保護者が抱える課題をまとめる		1時間
8	保護者と幼児と保育者の関係 —目指す保育者像—	予習) 三者の望ましい関係をまとめる		1時間
		復習) 目指す保育者像をまとめる		1時間
9	カウンセリングの技法(1) —状況の理解—	予習) カウンセリングの技法をまとめる		1時間
		復習) 状況把握の果たす役目をまとめる		1時間
10	カウンセリングの技法(2) —相手の理解—	予習) 状況や実態把握の大切さをまとめる		1時間
		復習) 相手を理解することの役目をまとめる		1時間
11	カウンセリングの技法(3) —共感的な姿勢—	予習) 共感することの大切さをまとめる		1時間
		復習) 共感的な姿勢についてまとめる		1時間
12	保護者の相談事例(1) 一事例Aについて—	予習) 事例Aの対応の仕方をまとめる		1時間
		復習) 保育者としての対応をまとめる		1時間
13	保護者の相談事例(2) 一事例Bについて—	予習) 事例Bの対応の仕方をまとめる		1時間
		復習) 保育者としての対応をまとめる		1時間
14	保護者の相談事例(3) 一事例Cについて—	予習) 事例Cの対応の仕方をまとめる		1時間
		復習) 保育者としての対応をまとめる		1時間
15	まとめと振り返り	予習) 教育相談の大切さをまとめる		1時間
		復習) 相談の力の活かし方をまとめる		1時間

**\*担当者からのメッセージ\***  
保育者として教育相談にどう関わったらよいか、一緒に考えましょう。オフィスアワーは水曜日5コマ目です。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年後期		こども家庭支援論 ( H I I E 4 )		講義	近末克紀
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	アクションペーパー	レポート	実技	授業態度	
—	30%	60%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 プリントなど適宜配布					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**

保育者として、その専門性を活かして行う子育て家庭への支援について考え、多様な支援の形や実際を知ることで、その意義と目的を理解する。グループワークやディスカッションを中心に、保育現場でおきた実際の事例をもとにその時の子どもたちや保護者の姿や感情、課題や問題点を探り、理解を深めていく。必要に応じて講義も行う。毎回リアクションペーパーを記載し、次回授業でフィードバックする。

**【授業の到達目標】**

- ・子育て家庭に対する支援の意義と目的を理解する。
- ・「よりよい子育て社会」の構築に向けて、保育者としての意識を身につける。
- ・子どもの成長に対する保護者との共有、支援の具体的な方法を理解する。

**【実務経験】**

保育士歴21年。現場で実際に経験してきた事例を元に、理論と合わせ総合的実践的に学んでいく。  
保育士・幼稚園教諭・チャイルドコーチングアドバイザー・乳幼児救命救急支援員・和太鼓民舞講師

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と役割を知る	予習	シラバスにて授業内容、到達目標を把握	1時間
		復習	子ども家庭支援の意義役割についてまとめる	2時間
2	保育の専門性を活かした子ども家庭支援 子どもの育ちの喜びと共有	予習	子育ての喜びについて考えてくる	1時間
		復習	子どもの成長の喜びについてまとめる	2時間
3	保育士に求められる基本的態度 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	保育士としての態度について考える	1時間
		復習	基本的態度についてまとめる	2時間
4	それぞれの家庭の状況に応じた支援の在り方 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	様々な家庭環境について考える	1時間
		復習	家庭の状況に応じた支援の在り方をまとめる	2時間
5	公的機関との連携について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	公的機関について調べてくる	1時間
		復習	公的機関との連携についてまとめる	2時間
6	子ども家庭支援に対する環境づくり① 「傾聴」	予習	傾聴とはどういうことか調べてくる	1時間
		復習	傾聴のポイントをとまとめる	2時間
7	子ども家庭支援に対する環境づくり② 「承認」	予習	承認とはどういうことか調べてくる	1時間
		復習	承認のポイントをとまとめる	2時間
8	子ども家庭支援に対する環境づくり③ 「質問」	予習	質問とはどういうことか調べてくる	1時間
		復習	質問のポイントをとまとめる	2時間
9	保育現場での支援の実際 園行事を通して① グループディスカッション・発表	予習	どんな園行事があるか調べてくる	1時間
		復習	園行事を通しての支援の在り方をまとめる	2時間
10	保育現場での支援の実際 園行事を通して② グループディスカッション・発表	予習	園行事の展開を考えてくる	1時間
		復習	行事の意義や考え方をまとめる	2時間
11	保育現場での支援の実際 園行事を通して③ グループディスカッション・発表	予習	保護者をつくる行事を考えてくる	1時間
		復習	保護者との信頼とひろがりについてまとめる	2時間
12	地域の子育て家庭への支援 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	地域の子育て家庭との関わり方を考えてくる	1時間
		復習	地域の子育て家庭への支援についてまとめる	2時間
13	要保護児童等及びその家庭に対する支援 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	要保護児童及びその家庭について調べてくる	1時間
		復習	丁寧な関わりと支援についてまとめる	2時間
14	子ども家庭支援の現状と課題 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	どんな課題があるか調べてくる	1時間
		復習	課題への対処についてまとめる	2時間
15	いのちの授業 ゲストティーチャーを迎えて	予習	いのちについて考えてくる	1時間
		復習	大切ないのちを預かるという自覚を持つ	2時間

**\*担当者からのメッセージ\***

保育現場で出会う、たくさん子どもや保護者たちへの支え方を、実際に保育現場であったお話をもとに、みんなで考えていきましょう。オフィスアワーは、授業終了後の休憩時間です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	仏教保育論 ( H III A 6 # )			講義	藤生義仁・関 裕剛 内藤弘純
単 位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 分かりやすい仏教保育論 教材 講師が用意したパワーポイント、プリントなどにより授業を進める
2単位	—	—	*	#	
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	70%	—	—	30%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授 業 概 要

#### 【授業の内容・方法】

仏教とは「慈悲」の宗教である。仏教保育とは、慈悲の心にねぎらった保育をいう。保育の中の仏教行事、月間のねらいなどを基に、実際に園で行っている保育を紹介・解説していく。主に講義として行うが、年4回の仏教行事の参加を求め、また、それぞれ授業においては、グループワーク、ディスカッションなどの時間を取り入れながら、理解を深めていく。

授業の最後には、リアクションペーパーを使用し、フィードバックの時間を設ける。

#### 【授業の到達目標】

日常の保育の中で、仏教精神や仏教行事がどのように取り入れられているかを理解し、説明できる。またそれぞれの園での活動の違いを知る。そして、自身の今後の保育感を深め、「こういう保育者になりたい」と考えられるようになる。

#### 【実務経験】

保育園の園長の経験、僧侶としての経験と知識を活かして、保育と仏教の統合的実践的な講義を行う。

授 業 計 画		担当者	準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )	準備学習時間
1	仏教保育とは (1) ～「生きる」について考える～	藤生	予習 「生きる」について考える	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
2	仏教保育とは (2) ～「有難い」について考える～	藤生	予習 「有難い」について考える	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
3	仏教保育とは (3) ～「信頼関係」について考える～	藤生	予習 「保育」について考える	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
4	月間の保育のねらい (1) 4月「合掌聞法」	藤生	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
5	月間保育のねらい (2) 5月「持戒和合」	藤生	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
6	月間保育のねらい (3) 6月「生命尊重」、7月「布施奉仕」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
7	月間保育のねらい (4) 8月「自利利他」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
8	月間保育のねらい (5) 9月「報恩感謝」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
9	月間保育のねらい (6) 10月「同事協力」	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
10	月間保育のねらい (7) 11月「精進努力」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
11	月間保育のねらい (8) 12月「忍辱持久」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
12	月間保育のねらい (9) 1月「和顔愛語」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
13	月間保育のねらい (10) 2月「禪定静寂」、3月「智慧希望」	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
14	仏教行事 (1) 仏教行事「降誕会」「魂まつり」の参加、レポート提出	内藤	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間
15	仏教行事 (2) 仏教行事「成道会」「涅槃会」の参加、レポート提出	関	予習 月の徳目の意味を調べる	0.5時間
			復習 学んだことの中で実践できることを考える	0.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

仏教保育の優しさ、心の豊かな保育を理解し、保育の楽しさ、やりがいにつけてもらいたいと思います。オフィスアワーは授業後の休み時間内です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年通年	こどもの食と栄養 (HⅢB4)			演習	川田容子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 「第3版子どもの食と栄養演習書」医歯薬出版株式会社2500円 参考書 「保育所保育指針・幼稚園教育要領」 教材 「授乳離乳の支援ガイド」 「食育計画作成ガイド」
2単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
60%	—	30%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

食事をおいしく楽しくとることが、心も体も健康に育つ上で基本となる。  
前期は、子どもの食生活の問題点について課題を通して考察するとともに、栄養の基礎、胎児期から離乳期の栄養を学ぶ。  
後期は、子どもの成長や身体状況を食機能の発達について課題を通して学ぶとともに、幼児期の栄養、乳幼児期の食育について実習を交えながら学ぶ。講義を中心に、グループワーク・実習を取り入れる。

#### 【授業の到達目標】

1. 健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基本的知識を説明ができるようになる。
2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について説明できるようになる。
3. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を理解し、食育指導案の作成ができるようになる。
4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明できるようになる。
5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解し、対応ができるようになる。

#### 【実務経験】

地方自治体保育所主管課にて公立保育所の給食管理業務、食育指導、行政指導監査業務を経験。  
栃木県保育協議会研修・市町村保育所栄養士会研修にて保育士・栄養士の指導に携わる（元栃木県市町村保育所栄養士会会長、元栃木県栄養士会福祉協議会長）

授業計画		準備学習（予習・復習）		準備学習時間
1	オリエンテーション（講義・実習の進め方について説明する）子どもの健康と食生活の意義	予習）シラバスを読む 復習）授業資料を読み直す		0.5時間 0.5時間
2	健康・食生活の現状と課題①	予習）子どもの健康と食生活の課題を調べ 復習）発表準備		1時間 1時間
3	健康・食生活の現状と課題②【ディスカッション】	予習）発表準備 復習）課題レポート作成		1時間 1時間
4	体の成長発達とその評価	予習）子どもの保健・子どもの発達の復習 復習）授業資料を読み直す		0.5時間 0.5時間
5	子どもの食べる機能の発達	予習）教科書指定頁を読む 復習）授業資料を読み直す		0.5時間 0.5時間
6	乳児の発育と栄養	予習）教科書指定頁を読む 復習）授業資料を読み直す		0.5時間 0.5時間
7	調乳法を実習する【実習】	予習）乳児保育・調乳の復習 復習）課題レポート作成		0.5時間 1時間
8	離乳食の役割・離乳食の進め方	予習）授乳離乳の基本を読む 復習）授業資料を読み直す		0.5時間 0.5時間
9	*連続授業 離乳食の実際① 初期・中期【実習】	予習）乳児保育・離乳食の復習		0.5時間
10	離乳食の実際② 後期・移行期【実習】	復習）課題レポート作成		1時間
11	栄養に関する基本知識① 3大栄養素	予習）教科書指定頁を読む 復習）授業資料を読み直す		0.5時間 0.5時間
12	栄養に関する基本的知識② ビタミン・ミネラル	予習）教科書指定頁を読む 復習）授業資料を読み直す		0.5時間 0.5時間
13	栄養に関する基本的知識③ 小児の食事摂取基準	予習）教科書指定頁を読む 復習）課題レポート作成		0.5時間 1時間
14	胎児・妊娠期の生理と栄養・生涯発達と食生活	予習）教科書指定頁を読む 復習）課題レポート作成		0.5時間 1時間
15	まとめ 平常試験 フィードバック	予習）試験勉強 復習）試験問題見直し		2時間 1時間

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
16	幼児期の心身の発達と食生活① 心身の発達	予習) 子どもの保健・子どもの発達を復習		0.5時間
		復習) 課題レポート作成		1時間
17	幼児期の心身の発達と食生活② 食の育ち	予習) 子どもの食の発達について下調べ		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
18	幼児期の心身の発達と食生活③ 食の課題と対応 【ディスカッション】	予習) 幼児期の食の課題について下調べ		0.5時間
		復習) 課題レポート作成		1時間
19	幼児期の食生活・栄養の特徴	予習) 教科書指定頁を読む		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
20	学童期の心身の発達と食生活	予習) 教科書指定頁を読む		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
21	食育の基本 幼児期における食育と食育計画	予習) 保育所保育指針・幼稚園教育要領を読む		0.5時間
		復習) 課題レポート作成		1時間
22	食育計画①食育保育指導案作成 【グループワーク】	予習) 食育保育に関する資料を読む		0.5時間
		復習) 指導案作成		1時間
23	食育計画②食育保育指導案作成 【グループワーク】	予習) 指導案作成		0.5時間
		復習) 発表演習の準備		1時間
24	*連続授業 食育保育演習①子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備		2時間
25	食育保育演習②子どもへの食育の実際【演習】			
26	食育保育演習③子どもへの食育の実際【演習】	予習) 発表演習の準備		2時間
		復習) 課題レポート作成		1時間
27	児童福祉施設における食事と栄養	予習) 教科書指定頁を読む		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
28	①特別な配慮を要する子どもの食と栄養 食物アレルギーのある子どもへの対応	予習) 子どもの保健・アレルギーについて復習		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
29	②特別な配慮を要する子どもの食と栄養 障がいのある子どもへの対応	予習) 子ども保健・疾病について復習		0.5時間
		復習) 授業資料を読み直す		0.5時間
30	まとめ 平常試験 フィードバック	予習) 試験勉強		2時間
		復習) 試験問題見直し		1時間

**\*担当者からのメッセージ\***

子どもに食を伝えていくためには、保育者自らの「健康的な食生活を実践する力」が必要です。毎日の生活の中で食に興味関心を持ち、朝食の摂取やバランスの取れた食生活、食事のマナーを身につけるよう心がけましょう。

保育士資格取得必須科目であり、「保育の心理学」「子どもの保健」「家庭支援論」などとの関連性が深く復習を踏まえた理解が必要です。当授業では、実習や教材研究を行うため、レポート等の提出があります。しっかり予習、復習を行い、積極的に授業に参加して下さい。なお オフィスアワーは、担当授業終了後の休み時間です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	乳児保育Ⅱ (HⅢC2)			演習	加藤 房江
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 「見る・考える・創り出す乳児保育Ⅰ・Ⅱ」 参考書 「保育所保育指針解説」 (平成30年3月厚生労働省編 フレーベル館)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」(平成30年3月内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館) 教材 適宜資料を配布する
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	アクションペーパー	課題	実技	授業態度	
—	20%	20%	40%	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わりの方の基本的考え方と養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法や環境についての理論と実際をすり合わせて理解し、計画の作成ができるよう考察を深めていく。授業は講義と赤ちゃん人形を使用した演習等の実践的内容で進める。アクションペーパー・事例検討・課題は授業で共有する。

#### 【授業の到達目標】

1. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた援助や関わりの方の基本的考え方について理解できる。
2. 養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法や環境について理解できる。
3. 乳児保育における配慮の実際について学び、指導計画の作成について理解できる。

#### 【実務経験】

保育士・幼稚園教諭の実務経験を活かし、子どもとの関わり方や保育士の職務内容、保育環境をどのように整え、計画に盛り込んでいくのか分かりやすく実践的な授業を心がける。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	オリエンテーション 乳児保育の意義と保育士等との関係の重要性	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握 復習) 乳児保育に関する社会背景をまとめる		1時間 1時間
2	0～3歳までの発育・発達	予習) 文献や教科書 P54～58を精読する 復習) 授業内容のまとめを行う		1時間 1時間
3	食事の援助と環境(調乳・離乳食)	予習) 文献や教科書 P165～174を精読する 復習) 復習をし、調乳の仕方を確認する		1時間 1時間
4	排泄の援助と環境(おむつ交換・排泄の援助)	予習) 文献や教科書 P175～178を精読する 復習) 復習をし、おむつ交換の仕方を確認する		1時間 1時間
5	睡眠・着脱に関する援助と環境	予習) 教科書 P179～180・P185～190を精読 復習) 授業内容のまとめを行う		1時間 1.5時間
6	0～3歳までの遊びや環境(手作りおもちゃ)	予習) 手作りおもちゃの作成 復習) 発達に合ったおもちゃや環境をまとめる		3時間 1.5時間
7	清潔に関する援助と環境(沐浴等)	予習) 文献や教科書 P181～184を精読する 復習) 復習をし、調乳の仕方を確認する		1時間 1時間
8	乳児保育における計画と評価	予習) 保育指針P38～58教科書 P32～39を精読する 復習) 計画と評価について復習する		1.5時間 1時間
9	乳児保育における健康と安全	予習) 保育指針P297～325教科書 P155～164を精読 復習) 園の安全対策を調べまとめる		1.5時間 1時間
10	乳児の保育内容と遊び(グループワーク)	予習) 文献や教科書で調べ学習をする 復習) グループワークの内容について復習		1.5時間 1.5時間
11	1歳以上3歳未満児の保育内容(グループワーク)	予習) 文献や教科書で調べ学習をする 復習) グループワークの内容について復習		1.5時間 1.5時間
12	1歳以上3歳未満児の遊び(グループワーク)	予習) 文献や教科書で調べ学習をする 復習) グループワークの内容について復習		1.5時間 1.5時間
13	乳児保育のプレゼンテーション(グループワーク)	予習) グループでプレゼンテーションの打ち合わせ 復習) 全体の発表についてまとめる		1時間 1時間
14	乳児保育を支える連携	予習) 文献や教科書 P149～153を精読する 復習) 乳児保育における連携をまとめる		1時間 1時間
15	事例検討 まとめと振り返り	予習) 学んだことと実習とをすり合わせる 復習) 保育者として自分の考えをまとめる		1時間 1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

保育者として実践での子どもの関わり方や保育士の職務内容、保育環境をどのように整え、計画に盛り込んでいけるか学んでいきましょう。積極的な態度で授業に臨んでください。オフィスアワーは、授業終了後の休み時間です。

開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年前期	社会的養護Ⅱ (HⅢC4)			演習	赤坂理恵・常山由紀子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	課題	実技	授業態度	
60%	—	20%	—	20%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書 【演習】社会的養護Ⅱ 編著古田眞理・「放課後等デイサービスガイドライン」・「児童発達支援ガイドライン」(厚生労働省) ・社会福祉小六法・「誕生日を知らない女の子」黒川祥子 教材 パワーポイント 適時プリントを配布する					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

児童養護施設で生活する子どもたちや障害児通所施設で療育を利用する子どもたちを理解し、その家庭の相談に応じ情報共有しながら子どもの育ち・暮らしを支えていく保育士に求められる資質や倫理、役割について学びを深める。また、被虐待体験の影響及び障害の捉えかたや特性を理解し、ライフステージに応じた継続した支援の必要性を学ぶことを目的とする。

授業は講義中心ではあるが、ディスカッションを取り入れて、毎回の授業でフィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

- ・社会的養護を必要とする幅広い年齢の子どもたちを支援するために保育士としての必要な知識や役割を理解し、説明できる。
- ・子どもたちへの具体的支援方法を考えることができるようになる。
- ・保護者支援について理解し、説明できる。
- ・地域や学校、関係機関との連携について理解し、説明できる。

#### 【実務経験】

- ・障がい児、者の支援や相談の実務経験を生かし、現場の実際とケースを紹介しながら実践的な講義を行う。

授業計画		担当者	準備学習(予習・復習)	準備学習時間
1	オリエンテーション 社会的養護における子どもの理解	赤坂 常山	予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握	0.5時間
			復習) 子どもの養護における保育士の役割についてまとめる	1時間
2	児童養護施設における生活支援について	常山	予習) 児童養護施設について調べる	1時間
			復習) 大舎制・中舎制・小舎制についてまとめる	1時間
3	子どもの表現方法を理解する グループケアについて	常山	予習) マルトリートメントについて調べる	1時間
			復習) 「入所前に子どもたちが生きてきた世界」・「子どもたちに必要な関わり」についてまとめる	1.5時間
4	愛着障害・発達障害について	常山	予習) 愛着障害・発達障害について調べる	1時間
			復習) 愛着障害の子に見られる特徴をまとめる発達障害の種類と特徴をまとめる	1時間
5	自立支援計画について	常山	予習) 自立支援計画は何かを調べる	1時間
			復習) 自立支援計画は誰のためにあるのか、作成の際に大切なことをまとめる	1時間
6	ほめる育てるコミュニケーショントレーニング (ダイジェスト版)	常山	予習) 配布された資料を通読する	1時間
			復習) 怒ると叱ることの違いをまとめる	1時間
7	社会的養護概論 ファミリーソーシャルワーク論	常山	予習) 社会的養護に関わる専門職について調べる	1時間
			復習) 分の身近にある社会資源を調べる	1時間
8	まとめと振り返り 確認テスト	常山	予習) これまでの講義の内容(プリント)を振り返る	2時間
			復習) 確認テストで不足していた部分を振り返る	1時間
9	障害児通所施設における支援の実際 (児童発達支援・放課後等デイサービス・保育所等訪問支援)	赤坂	予習) 障害児通所支援について調べる	1時間
			復習) 障害福祉サービスについてまとめる	1時間
10	障害を理解する (知的障害・発達障害・自閉症スペクトラム障害等)	赤坂	予習) 障がいの分類について調べる	1時間
			復習) 障がい特性についてまとめる	1時間
11	子どもの早期発見と家族支援	赤坂	予習) 家族支援とは何かについてまとめる	1時間
			復習) 家族支援の必要性についてまとめる	1時間
12	地域の関係機関や学校等との関係づくり	赤坂	予習) 地域の関係機関について調べる	1時間
			復習) 連携や協働の必要性についてまとめる	1時間
13	個別支援計画の作成について	赤坂	予習) 自立への支援とは何かをまとめる	1時間
			復習) 個別支援計画作成に必要な視点をまとめる	1.5時間
14	相談支援の知識と技術、実践 (傾聴姿勢や態度、ロールプレイ)	赤坂	予習) 相談支援とは何かについてまとめる	1時間
			復習) 聴き方、伝え方についてまとめる	1時間
15	社会的養護における保育者としての専門性	赤坂	予習) 保育者の専門性について自分なりにまとめる	1時間
			復習) 確認テストで見直し、定期試験の準備をする	1.5時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

社会的養護を必要としている子どもの問題を理解し、保育者としての役割について学びを深めていきましょう。ディスカッションでは、自分の考えを発表して積極的に参加しましょう。(赤坂)

社会的養護を必要とする子どもや家庭は、私たちの想像以上に地域に多く存在します。そのような子どもの問題や気持ちを理解し、保育者として必要な役割、視点について一緒に考えていきましょう。(常山)

なお、オフィスアワーは授業終了後の時間になります。

開講学年・時期		授業科目名		授業形態	担当者
2年前期		子育て支援 (HⅢC5)		演習	近末克紀
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		
1単位	—	—	○		
評価方法・基準					
定期試験	リアクションペーパー	レポート	実技	授業態度	
—	30%	60%	—	10%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					
教科書なし 参考書「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 プリントなど適宜配布					

**授 業 概 要**

**【授業の内容・方法】**

この授業では、保育者としてのあり方の基本と専門性を理解し、「子どもに寄り添い、主体性を育む保育」のために必要なことを、保育実践の中から学んでいく。グループワークやディスカッションを中心に、自身の保育観や考えを明確にしながら理解を深めていく。必要に応じて講義も行う。毎回リアクションペーパーを記載し、次回授業でフィードバックする。

**【授業の到達目標】**

- ・保育者の役割と責任について理解する。
- ・「子どもに寄り添い、主体性を育む保育」を行うために必要なことを理解する。
- ・子どもたちの最善の利益について理解する。

**【実務経験】**

保育士歴21年。現場で実際に経験してきた事例を元に、理論と合わせ総合的実践的に学んでいく。  
保育士・幼稚園教諭・チャイルドコーチングアドバイザー・乳幼児救命救急支援員・和太鼓民舞講師

授 業 計 画		準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 )		準備学習時間
1	オリエンテーション 保育士の役割と専門性を知る	予習	シラバスにて授業内容、到達目標を把握	0.5時間
		復習	保育士の役割専門性についてまとめる	1時間
2	子どもに寄り添うとは？主体性を育む保育とは？ グループディスカッション・発表	予習	自分の理想とする保育士像を考える	0.5時間
		復習	子どもに寄り添う・主体性についてまとめる	1時間
3	低年齢児の保育について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	低年齢児の保育についてイメージする	0.5時間
		復習	低年齢児の保育についてまとめる	1時間
4	3歳児の保育について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	3歳児の保育についてイメージする	0.5時間
		復習	3歳児の保育についてまとめる	1時間
5	4歳児の保育について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	4歳児の保育についてイメージする	0.5時間
		復習	4歳児の保育についてまとめる	1時間
6	5歳児の保育について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	5歳児の保育についてイメージする	0.5時間
		復習	5歳児の保育についてまとめる	1時間
7	保護者との子どもとの姿の共有の必要性和多面的理解 保護者への支援と信頼関係	予習	保護者との信頼関係の構築について考える	0.5時間
		復習	保護者との信頼関係の構築についてまとめる	1時間
8	保育現場での保育の実際 リズムで体を動かそう！！	予習	ケガをしないように体をほぐす	0.5時間
		復習	子どもたちとリズムを楽しむことを考える	1時間
9	保育士による保育の環境構成 仕掛けについて① グループディスカッション・発表	予習	仕掛けについて考える	0.5時間
		復習	子どもたちの心の動きを振り返る	1時間
10	保育士による保育の環境構成 仕掛けについて② グループディスカッション・発表	予習	保育の環境構成について考える	0.5時間
		復習	子どもたちの変化を振り返る	1時間
11	保育士による保育の環境構成 仕掛けについて③ グループディスカッション・発表	予習	ワクワクすることを考える	0.5時間
		復習	保育者も一緒に楽しむことを振り返る	1時間
12	職員間の連携の重要性について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	職員間の連携に必要なことを考える	0.5時間
		復習	職員間の連携の重要性について整理する	1時間
13	地域社会との連携について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表	予習	地域社会との連携に必要なことを考える	0.5時間
		復習	地域との連携の重要性について整理する	1時間
14	特別な配慮を必要とする子どもと保護者に対する支援 要保護児童等の家庭に対する支援と公的機関との連携	予習	公的機関との連携に必要なことを考える	0.5時間
		復習	公的機関との連携の重要性について整理する	1時間
15	子どもたちの最善の利益とは？それを支える保育士となるために グループディスカッション・発表	予習	保育士としてのあり方考える	0.5時間
		復習	理想の保育士像を抱く	1時間

**\*担当者からのメッセージ\***

実際に保育現場であったお話をもとに、保育者としての喜びや課題を、みんなで見つけて共有していきましょう。  
オフィスアワーは、授業終了後の休憩時間です。



開講学年・時期	授業科目名			授業形態	担当者
2年後期	手話コミュニケーション (HⅢC7#)			演習	飯島美佐子・新井恵美子
単位	卒業資格	幼稚園教諭免許	保育士資格		教科書 なし 参考書 手話を学ぼう 手話で話そう (一般社団法人全日本ろうあ連盟) 教材 適宜資料を配布
1単位	—	—	#		
評価方法・基準					
定期試験	アクションペーパー	課題	実技	授業態度	
50%	—	—	10%	40%	
◎2/3以上出席しないと評価の対象としない					

### 授業概要

#### 【授業の内容・方法】

この授業では、聴覚障害・手話の基本知識の習得を目的とし、聴覚障害者のおかれている現状について理解を深める。「聴覚障害とは・・・」「手話とは・・・」について学ぶ。授業形態は手話で会話する演習方式を中心とするがグループワーク等を取り入れて行う。定期試験については授業の中で説明等フィードバックを行う。

#### 【授業の到達目標】

聴覚障害者にとっては手話は、日本語と対等な言葉であることを学ぶ。  
相手の手話を読み取り、手話で簡単な日常会話ができる。

#### 【実務経験】

手話通訳としての実務経験を生かして、聴覚障害・手話の基本について指導する。

授業計画		準備学習(予習・復習)		準備学習時間
1	<講義>聴覚障害とは <実技>伝える・身振り等工夫して伝える・指文字	予習) 授業内容 聴覚障害に関することについて考える 復習) 指文字 練習		1時間 1時間
2	<演習>挨拶・名前・数字	予習) プリント復習① 演習 復習) 表現自主練習		1時間 1時間
3	家族	予習) プリント② 演習 復習) 自分の家族 自主練習		1時間 1時間
4	都道府県・地名・住所	予習) プリント③ 演習 復習) 住所 自主表現		1時間 1時間
5	趣味	予習) プリント④ 演習 復習) 趣味 自主表現 練習		1時間 1時間
6	仕事・夢	予習) プリント⑤ 演習 復習) 仕事・夢 自主表現 練習		1時間 1時間
7	1日の生活	予習) プリント⑥ 演習 復習) 1日の生活を振り返り 練習		1時間 1時間
8	1か月の生活	予習) プリント⑦ 演習 復習) 1か月の生活を振り返り 練習		1時間 1時間
9	1年間の行事	予習) プリント⑧ 演習 復習) 1年間の行事を振り返り 練習		1時間 1時間
10	星座・干支	予習) プリント⑨ 演習 復習) 表現練習		1時間 1時間
11	反対語	予習) プリント⑩ 演習 復習) 表現練習		1時間 1時間
12	行事計画 グループ発表①	予習) ポスターの題名 表現の役割をまとめる 復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間 1時間
13	病院 グループ発表②	予習) テーマ・歌・手話表現の役割をまとめる 復習) ディスカッションのまとめを行う		1時間 1時間
14	総復習	予習) 表現を見直し確認しまとめる 復習) 習った事を繰り返しながらまとめる		1時間 1時間
15	<まとめ>今まで習った手話の総復習 試験	予習) 今まで習った手話を再確認しまとめる 復習) 総復習試験の準備		1時間 1時間

#### \*担当者からのメッセージ\*

手話の基礎となる学びですので、しっかり覚えましょう。また、積極的に授業に参加してください。  
手話は主語であり、貴重な言葉です。オフィスアワーは授業終了後の休み時間です。